

データヘルス計画

第3期計画書

最終更新日：令和6年03月27日

東京都洋菓子健康保険組合

STEP 1-1 基本情報

組合コード	26861
組合名称	東京都洋菓子健康保険組合
形態	総合
業種	食料品・たばこ製造業

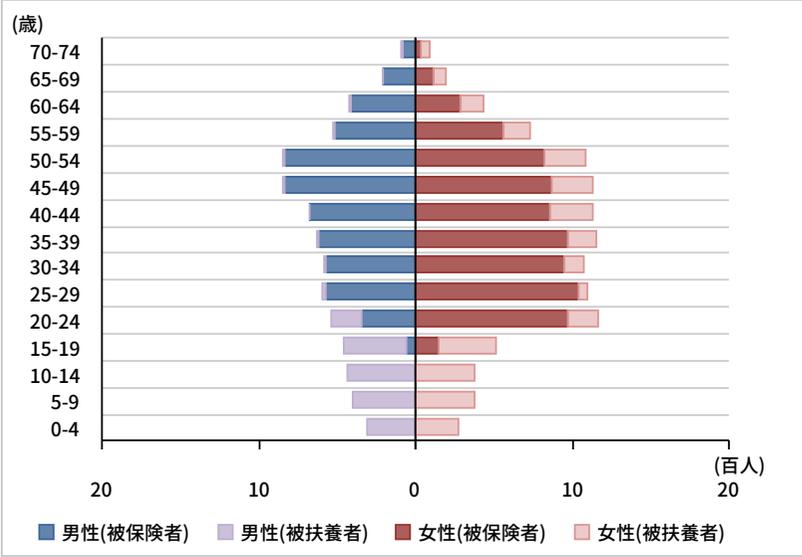
	令和6年度見込み	令和7年度見込み	令和8年度見込み
被保険者数 * 平均年齢は 特例退職被保険者を除く	13,270名 男性41.7% (平均年齢43.9歳) * 女性58.2% (平均年齢39.2歳) *	-名 男性-% (平均年齢-歳) * 女性-% (平均年齢-歳) *	-名 男性-% (平均年齢-歳) * 女性-% (平均年齢-歳) *
特例退職被保険者数	0名	-名	-名
加入者数	17,741名	-名	-名
適用事業所数	155カ所	-カ所	-カ所
対象となる拠点数	155カ所	-カ所	-カ所
保険料率 *調整を含む	0‰	-‰	-‰

		健康保険組合と事業主側の医療専門職					
		令和6年度見込み		令和7年度見込み		令和8年度見込み	
		常勤(人)	非常勤(人)	常勤(人)	非常勤(人)	常勤(人)	非常勤(人)
健保組合	顧問医	0	0	-	-	-	-
	保健師等	0	0	-	-	-	-
事業主	産業医	0	42	-	-	-	-
	保健師等	0	2	-	-	-	-

		第3期における基礎数値 (令和4年度の実績値)	
特定健康診査実施率 (特定健康診査実施者数 ÷ 特定健康診査対象者数)	全体	6,304 / 7,581 = 83.2 %	
	被保険者	5,711 / 6,306 = 90.6 %	
	被扶養者	593 / 1,275 = 46.5 %	
特定保健指導実施率 (特定保健指導実施者数 ÷ 特定保健指導対象者数)	全体	89 / 985 = 9.0 %	
	被保険者	86 / 949 = 9.1 %	
	被扶養者	3 / 36 = 8.3 %	

		令和6年度見込み		令和7年度見込み		令和8年度見込み	
		予算額(千円)	被保険者一人 当たり金額 (円)	予算額(千円)	被保険者一人 当たり金額 (円)	予算額(千円)	被保険者一人 当たり金額 (円)
保健事業費	特定健康診査事業費	77,839	5,866	-	-	-	-
	特定保健指導事業費	4,260	321	-	-	-	-
	保健指導宣伝費	15,464	1,165	-	-	-	-
	疾病予防費	159,245	12,000	-	-	-	-
	体育奨励費	3,868	291	-	-	-	-
	直営保養所費	0	0	-	-	-	-
	その他	28,118	2,119	-	-	-	-
	小計 …a	288,794	21,763	0	-	0	-
経常支出合計 …b	5,726,766	431,557	-	-	-	-	
a/b×100 (%)	5.04		-	-	-	-	

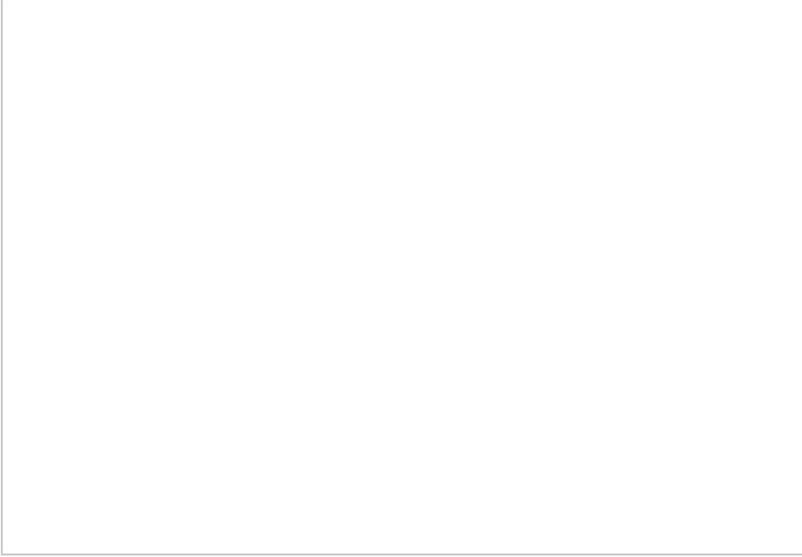
令和6年度見込み



令和7年度見込み



令和8年度見込み



男性（被保険者）

令和6年度見込み				令和7年度見込み				令和8年度見込み			
0～4	0人	5～9	0人	0～4	-人	5～9	-人	0～4	-人	5～9	-人
10～14	0人	15～19	62人	10～14	-人	15～19	-人	10～14	-人	15～19	-人
20～24	339人	25～29	570人	20～24	-人	25～29	-人	20～24	-人	25～29	-人
30～34	566人	35～39	612人	30～34	-人	35～39	-人	30～34	-人	35～39	-人
40～44	674人	45～49	840人	40～44	-人	45～49	-人	40～44	-人	45～49	-人
50～54	830人	55～59	517人	50～54	-人	55～59	-人	50～54	-人	55～59	-人
60～64	417人	65～69	202人	60～64	-人	65～69	-人	60～64	-人	65～69	-人
70～74	77人			70～74	-人			70～74	-人		

女性（被保険者）

令和6年度見込み				令和7年度見込み				令和8年度見込み			
0～4	0人	5～9	0人	0～4	-人	5～9	-人	0～4	-人	5～9	-人
10～14	0人	15～19	152人	10～14	-人	15～19	-人	10～14	-人	15～19	-人
20～24	977人	25～29	1,038人	20～24	-人	25～29	-人	20～24	-人	25～29	-人
30～34	945人	35～39	974人	30～34	-人	35～39	-人	30～34	-人	35～39	-人
40～44	856人	45～49	867人	40～44	-人	45～49	-人	40～44	-人	45～49	-人
50～54	823人	55～59	561人	50～54	-人	55～59	-人	50～54	-人	55～59	-人
60～64	291人	65～69	117人	60～64	-人	65～69	-人	60～64	-人	65～69	-人
70～74	38人			70～74	-人			70～74	-人		

男性（被扶養者）

令和6年度見込み				令和7年度見込み				令和8年度見込み			
0～4	314人	5～9	403人	0～4	-人	5～9	-人	0～4	-人	5～9	-人
10～14	440人	15～19	404人	10～14	-人	15～19	-人	10～14	-人	15～19	-人
20～24	195人	25～29	25人	20～24	-人	25～29	-人	20～24	-人	25～29	-人
30～34	12人	35～39	9人	30～34	-人	35～39	-人	30～34	-人	35～39	-人
40～44	5人	45～49	8人	40～44	-人	45～49	-人	40～44	-人	45～49	-人
50～54	8人	55～59	8人	50～54	-人	55～59	-人	50～54	-人	55～59	-人
60～64	11人	65～69	2人	60～64	-人	65～69	-人	60～64	-人	65～69	-人
70～74	7人			70～74	-人			70～74	-人		

女性（被扶養者）

令和6年度見込み				令和7年度見込み				令和8年度見込み			
0～4	269人	5～9	380人	0～4	-人	5～9	-人	0～4	-人	5～9	-人
10～14	381人	15～19	366人	10～14	-人	15～19	-人	10～14	-人	15～19	-人
20～24	190人	25～29	57人	20～24	-人	25～29	-人	20～24	-人	25～29	-人
30～34	120人	35～39	186人	30～34	-人	35～39	-人	30～34	-人	35～39	-人
40～44	269人	45～49	266人	40～44	-人	45～49	-人	40～44	-人	45～49	-人
50～54	258人	55～59	169人	50～54	-人	55～59	-人	50～54	-人	55～59	-人
60～64	152人	65～69	84人	60～64	-人	65～69	-人	60～64	-人	65～69	-人
70～74	60人			70～74	-人			70～74	-人		

基本情報から見える特徴

- 総合健保組合（被保険者1万3千人 被扶養者5千人 加入者合計1万8千人 扶養率38.4%）である。
被保険者の構成割合は（男性25～54歳・女性20～59歳）に集中している。
- 適用事業所の多くは東京都内に所在しているが、店舗・工場等全国に拠点を構える適用事業所多数のため「対象となる拠点数」は不明である。
- 事業所の規模（被保険者数－構成割合）
500人以上 －6事業所（6700人－56.0%）
500人未満 －149事業所（6500人－54.0%）
任意継続 －58人（0.4%）
- 当組合には医療専門職が不在

STEP 1-2 保健事業の実施状況

保健事業の整理から見える特徴

健康管理委員会の参加者は年々減少している。

被扶養者の健診受診率が低い。

特定保健指導の実施率が低い。

ペーパーレス化に伴う機関誌配付数減少による広報の縮小が懸念される。

重症化予防の受診勧奨と同一対象者に案内している健康相談室は、曜日・時間・場所が限定されるため利用者は極端に少ない。また、電話健康相談・メンタルヘルスカウンセリングと内容が重複している。

スポーツクラブ法人契約は、登録の煩雑さからか利用者数が伸びない。

事業の一覧

職場環境の整備	
保健指導宣伝	健康管理委員会
加入者への意識づけ	
保健指導宣伝	機関誌（洋菓子KENPO）の発行
保健指導宣伝	情報誌（すこやかファミリー）の発行
保健指導宣伝	ホームページの運営
保健指導宣伝	MY HEALTH WEB運営（医療費通知）
個別の事業	
特定健康診査事業	特定健診（被保険者）
特定健康診査事業	特定健診（被扶養者）
特定保健指導事業	特定保健指導
保健指導宣伝	ジェネリック医薬品使用促進
保健指導宣伝	情報誌（月刊赤ちゃんと!）の配付
保健指導宣伝	健診結果（事業所控）等の送付
疾病予防	一般健診（被保険者）
疾病予防	生活習慣病予防健診（被保険者）
疾病予防	生活習慣病予防健診（被扶養者）
疾病予防	婦人生活習慣病予防健診（被保険者）
疾病予防	婦人生活習慣病予防健診（被扶養者）
疾病予防	人間ドック（被保険者）
疾病予防	人間ドック（被扶養者）
疾病予防	脳検査（脳ドック）
疾病予防	インフルエンザ予防接種
疾病予防	重症化予防のための受診勧奨および健康相談室の開設
疾病予防	電話健康相談・メンタルヘルスカウンセリング
疾病予防	健康企業宣言（コラボヘルス）
疾病予防	未受診者受診勧奨
疾病予防	その他の利用補助（感染症対策等の購入や予防接種に対する補助）
体育奨励	潮干狩り大会
体育奨励	味覚狩り（梨狩り）大会
体育奨励	味覚狩り（芋掘り）大会
体育奨励	ウォーキング大会
体育奨励	ミニマラソン大会
体育奨励	プール利用補助
体育奨励	東京ディズニーリゾート利用補助
その他	短期契約（夏季限定）保養所
その他	契約保養所
予算措置なし	スポーツクラブ法人契約
予算措置なし	家庭用常備薬の斡旋

事業主の取組

1	定期健康診査
---	--------

※事業は予算科目順に並び替えて表示されています。

予算科目	注1) 事業分類	事業名	事業目標	対象者				事業費(千円)	振り返り			注2) 評価
				対象事業所	性別	年齢	対象者		実施状況・時期	成功・推進要因	課題及び阻害要因	
職場環境の整備												
保健指導宣伝	1,5	健康管理委員会	事業所の担当者に向けて、保険事業や法改正についての説明をするとともに、健診受診・特定保健指導への参加を促す。外部講師を招いて健康に関する講演を行う。(感染症流行により講演は停止中)	全て	男女	18～74	被保険者	--	-	-	-	-
加入者への意識づけ												
保健指導宣伝	2	機関誌(洋菓子KENPO)の発行	加入者に対し、医療保険制度および保健事業の案内をし、健康意識の向上を図る。ペーパーレス化により機関誌の受け取りを中止した事業所には、ホームページの機関誌バックナンバーの周知依頼が必要となる。	全て	男女	0～74	加入者全員	--	-	-	-	-
	2	情報誌(すこやかファミリー)の発行	被扶養者を有する被保険者に対し、医療保険制度および保健衛生の認識を啓発する。30歳以上の女性被扶養者向けに婦人健診の案内を同封し、健診の受診率向上を目指す。	全て	男女	18～74	基準該当者	--	-	-	-	-
	2	ホームページの運営	健保組合の情報および医療保険制度情報の発信により、加入者の健康意識の向上を図る。ホームページの認知度向上のため、各事業所に周知への協力を依頼する。	全て	男女	0～74	加入者全員,その他	--	-	-	-	-
	2	MY HEALTH WEB運営(医療費通知)	医療費への関心を促し、医療費の削減や不正請求の防止効果を見込む。DV家庭などの閲覧制限の徹底が必要である。機関誌などでMY HEALTH WEB(アプリ)の周知と登録勧奨を行う。	全て	男女	0～74	被保険者	--	-	-	-	-
個別の事業												
特定健康診査事業	3	特定健診(被保険者)	人間ドック・特定健診・婦人健診と合わせて受診率の向上を目指すことで生活習慣病や婦人科系悪性新生物の早期発見・治療に繋げる。受診者の健康状態を把握し、疾病リスク保有者への特定保健指導や重症化前の受診勧奨(健康相談室案内)を行い健康状態の改善をはかる。	全て	男女	40～74	被保険者	--	-	-	-	-
	3	特定健診(被扶養者)	被扶養者に対する健診の重要性の周知を行う。人間ドック・特定健診・婦人健診と合わせて受診率の向上を目指すことで生活習慣病や婦人科系悪性新生物の早期発見・治療に繋げる。受診者の健康状態を把握し、疾病リスク保有者への特定保健指導や重症化前の受診勧奨(健康相談室案内)を行い健康状態の改善をはかる。	全て	男女	40～74	被扶養者	--	-	-	-	-
特定保健指導事業	2,4,8	特定保健指導	特定保健指導の受診率が国の基準に満たない場合、後期高齢者支援金が加算され保険料が増加するという仕組みの理解を深める広報をする。指導受診者が再度該当しないための予防策を検討する。指導の未受診者に対する再通知などの体制を整備する。	全て	男女	40～74	基準該当者	--	-	-	-	-
保健指導宣伝	7	ジェネリック医薬品使用促進	医療費の節減による組合財政の健全化をはかる。	全て	男女	0～74	基準該当者	--	-	-	-	-

予算科目	注1)事業分類	事業名	事業目標	対象者			事業費(千円)	振り返り			注2)評価
				対象事業所	性別	年齢		対象者	実施状況・時期	成功・推進要因	
	5,8	情報誌(月刊赤ちゃんと!)の配付	育児支援の一助として配付する。	全て	男女	18～74	基準該当者	--	-	-	-
	1,5	健診結果(事業所控)等の送付	「健康診査および保健指導に関するコラボヘルス推進にかかる覚書」や「健診結果提供依頼」を提出の事業所にて、有所見者の管理や受診勧奨のための資料として活用し、健康管理および重症化予防につなげる。また、産業医による健康管理や、労基署への報告に利用してもらう。ペーパーレス化により、CD(CSVデータ)での結果送付を行う場合もある。	一部の事業所	男女	18～74	被保険者	--	-	-	-
疾病予防	1,2,3	一般健診(被保険者)	受診率の向上を目指すことで生活習慣病の早期発見・治療に繋げる。受診者の健康状態を把握し、疾病リスク保有者への重症化前の受診勧奨(健康相談室案内)を行い健康状態の改善をはかる。	全て	男女	18～29	被保険者	--	-	-	-
	1,2,3	生活習慣病予防健診(被保険者)	受診率の向上を目指すことで生活習慣病の早期発見・治療に繋げる。受診者の健康状態を把握し、疾病リスク保有者への重症化前の受診勧奨(健康相談室案内)を行い健康状態の改善をはかる。	全て	男女	30～39	被保険者	--	-	-	-
	2,3	生活習慣病予防健診(被扶養者)	被扶養者に対する健診の重要性の周知を行う。受診率の向上を目指すことで生活習慣病の早期発見・治療に繋げる。受診者の健康状態を把握し、疾病リスク保有者への重症化前の受診勧奨(健康相談室案内)を行い健康状態の改善をはかる。	全て	男女	30～39	被扶養者	--	-	-	-
	2,3	婦人生活習慣病予防健診(被保険者)	生活習慣病予防健診・婦人健診と合わせて受診率の向上を目指すことで生活習慣病や婦人科系悪性新生物の早期発見・治療に繋げる。受診者の健康状態を把握し、疾病リスク保有者への重症化前の受診勧奨(健康相談室案内)を行い健康状態の改善をはかる。	全て	女性	30～39	被保険者	--	-	-	-
	2,3	婦人生活習慣病予防健診(被扶養者)	被扶養者の健診受診者を増やすため、健康診断の重要性への理解を深める広報を行う。生活習慣病予防健診・婦人健診と合わせて受診率の向上を目指すことで生活習慣病や婦人科系悪性新生物の早期発見・治療に繋げる。受診者の健康状態を把握し、疾病リスク保有者への重症化前の受診勧奨(健康相談室案内)を行い健康状態の改善をはかる。	全て	女性	30～39	被扶養者	--	-	-	-
	2,3	人間ドック(被保険者)	人間ドック・特定健診・婦人健診と合わせて受診率の向上を目指すことで生活習慣病や婦人科系悪性新生物の早期発見・治療に繋げる。受診者の健康状態を把握し、疾病リスク保有者への特定保健指導や重症化前の受診勧奨(健康相談室案内)を行い健康状態の改善をはかる。	全て	男女	40～74	被保険者	--	-	-	-
	2,3	人間ドック(被扶養者)	被扶養者の健診受診者を増やすため、健康診断の重要性への理解を深める広報を行う。人間ドック・特定健診・婦人健診と合わせて受診率の向上を目指すことで生活習慣病や婦人科系悪性新生物の早期発見・治療に繋げる。受診者の健康状態を把握し、疾病リスク保有者への特定保健指導や重症化前の受診勧奨(健康相談室案内)を行い健康状態の改善をはかる。	全て	男女	40～74	被扶養者	--	-	-	-
	3	脳検査(脳ドック)	受診者の健康状態を把握し、脳血管疾患リスク保有者に対しては早期発見による改善をはかる。(脳血管疾患リスク保有者の検査後の受診確認体制の整備。)	全て	男女	40～74	被保険者,被扶養者	--	-	-	-
	1,3,8	インフルエンザ予防接種	インフルエンザ予防接種に対する補助を行うことで感染予防効果・重症化予防効果を見込み、医療費の抑制につなげる。	全て	男女	0～74	加入者全員	--	-	-	-
4,6	重症化予防のための受診勧奨および健康相談室の開設	受診勧奨:生活習慣病(高血圧・糖尿病)リスク保有者に対して医療機関受診を呼びかけ、重症化前の早期発見および治療につなげる。健康相談室:組合員の健康相談、健診結果の解説、二次検査・医療機関受診についてのアドバイスにより、健康保持および増進につなげる。	全て	男女	0～74	加入者全員	--	-	-	-	

予算科目	注1) 事業分類	事業名	事業目標	対象者			事業費(千円)	振り返り			注2) 評価
				対象事業所	性別	年齢		対象者	実施状況・時期	成功・推進要因	
	5,6	電話健康相談・メンタルヘルスカウンセリング	電話による健康相談を24時間体制で行うことで、組合員の健康をサポートする。メンタルヘルスに対応した電話相談および面接相談で、組合員の精神面の健康をサポートする。	全て	男女	0～74	加入者全員	--	-	-	-
	5	健康企業宣言(コラボヘルス)	健康企業宣言に参加してもらうことにより、健診受診者および特定保健指導受診者の受診率向上、加入者の健康維持・増進の促進に繋がる。	全て	男女	18～74	被保険者	--	-	-	-
	2,3	未受診者受診勧奨	未受診者本人宛での「健診の種類・方法(被扶養者の場合は無料であること)」の案内を行い、受診率の向上を目指す。	全て	男女	40～74	基準該当者	--	-	-	-
	1,3,4	その他の利用補助(感染症対策等の購入や予防接種に対する補助)	新型コロナウイルス感染症の予防接種に対する補助を行うことで感染予防効果・重症化予防効果を見込み、医療費の抑制につなげる。	全て	男女	0～74	加入者全員	--	-	-	-
体育奨励	5,8	潮干狩り大会	家族や職場の仲間との交流の場を設け、心身のリフレッシュの機会を提供する。	全て	男女	0～74	加入者全員	--	-	-	-
	8	味覚狩り(梨狩り)大会	家族や職場の仲間との交流の場を設け、心身のリフレッシュの機会を提供する。	全て	男女	0～74	加入者全員	--	-	-	-
	8	味覚狩り(芋掘り)大会	家族や職場の仲間との交流の場を設け、心身のリフレッシュの機会を提供する。	全て	男女	0～(上限なし)	加入者全員,その他	--	-	-	-
	5,8	ウォーキング大会	メタボリックシンドロームの要因となる運動不足の改善のきっかけ、健康維持・体力増進の機会を提供する。	全て	男女	0～(上限なし)	加入者全員,その他	--	-	-	-
	8	ミニマラソン大会	組合員の身体活動や運動についての意識や態度を向上させ、身体活動量を増加させるきっかけとなる機会を提供する。	全て	男女	18～74	被保険者,基準該当者	--	-	-	-
	5,8	プール利用補助	組合員の心身のリフレッシュおよび家族や職場の仲間との交流の機会を提供する。	全て	男女	0～74	加入者全員	--	-	-	-
	5,8	東京ディズニーリゾート利用補助	組合員の心身のリフレッシュおよびメタボリックシンドロームの要因となる運動不足の改善のきっかけ、健康維持・体力増進の機会を提供する。	全て	男女	0～74	加入者全員	--	-	-	-
その他	8	短期契約(夏季限定)保養所	組合員の心身のリフレッシュおよび家族や職場の仲間との交流の機会を提供する。	全て	男女	0～(上限なし)	-	--	-	-	-

予算科目	注1) 事業分類	事業名	事業目標	対象者			事業費(千円)	振り返り			注2) 評価
				対象事業所	性別	年齢		対象者	実施状況・時期	成功・推進要因	
	8	契約保養所	組合員の心身のリフレッシュおよび家族や職場の仲間との交流の機会を提供する。	全て	男女	0 ～ 74	加入者 全員	--	--	--	-
予算措置なし	5	スポーツクラブ法人契約	組合員の身体活動や運動についての意識や態度を向上させ、身体活動量を増加させるきっかけとなる機会を提供する。	全て	男女	15 ～ 74	被保険者,基準 該当者	--	--	--	-
	8	家庭用常備薬の斡旋	組合員の健康管理および疾病予防対策による医療費の節減。	全て	男女	0 ～ 74	加入者 全員	--	--	--	-

注1) 1. 職場環境の整備 2. 加入者への意識づけ 3. 健康診査 4. 保健指導・受診勧奨 5. 健康教育 6. 健康相談 7. 後発医薬品の使用促進 8. その他の事業

注2) 1. 39%以下 2. 40%以上 3. 60%以上 4. 80%以上 5. 100%

事業名	事業の目的および概要	対象者			振り返り			共同実施
		資格	性別	年齢	実施状況・時期	成功・推進要因	課題及び阻害要因	
事業主の取組								
定期健康診査	労働安全衛生法で定める定期健康診査を、健保組合と共同実施。	被保険者	男女	18 ～ 74	実施状況 事業所にて案内 実施時期 年1回（当年4月1日～翌年3月31日）	全国の契約健診機関で受診可能。 遠隔地の拠点については、健診費用の補助をしている。 事業所巡回健診・会場別巡回健診などの実施ごとに広報。	全国に拠点があるため、健診機関から離れた所在地の被保険者については網羅できていない。	有

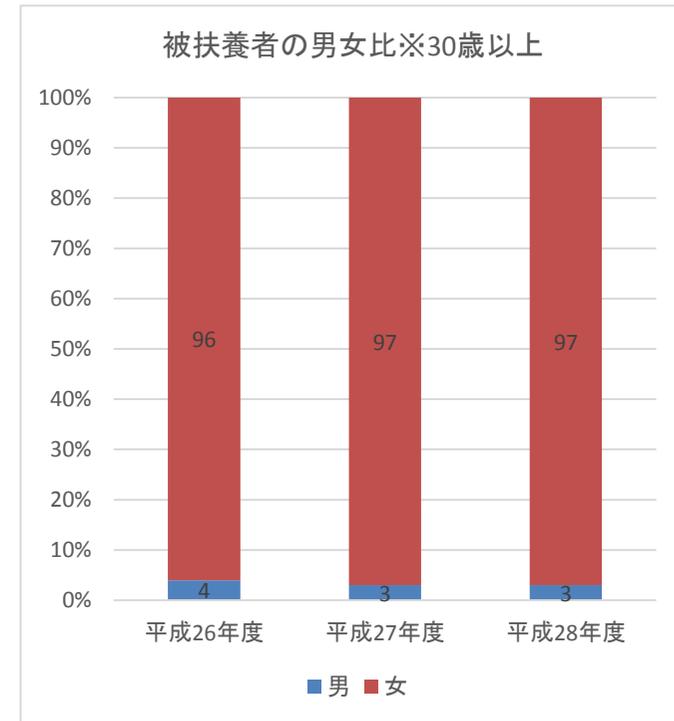
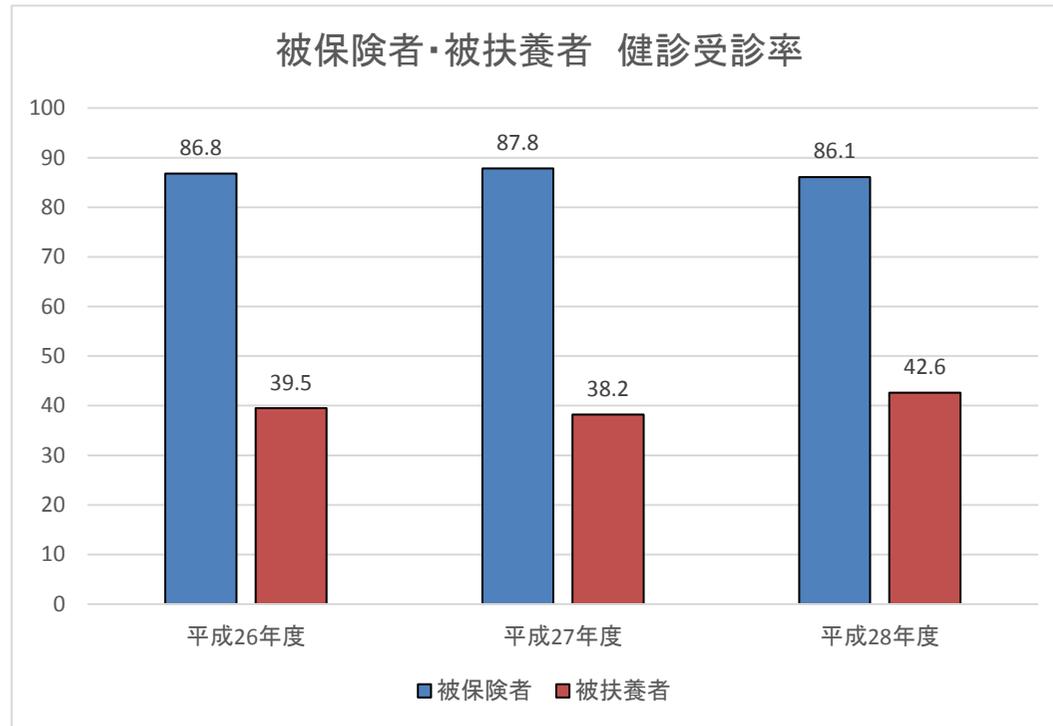
STEP 1-3 基本分析

登録済みファイル一覧

記号	ファイル画像	タイトル	カテゴリ	コメント
ア		被扶養者の健診受診率と男女比①	加入者構成の分析	-
イ		女性被扶養者の医療費について①	医療費・患者数分析	-
ウ		65～74歳の医療費について②	医療費・患者数分析	-
エ		三大生活習慣病リスク保有者の抽出③	健康リスク分析	-
オ		特定保健指導の実施について④	特定保健指導分析	-
カ		年度別医療費総額および一人当たり医療費比較	医療費・患者数分析	-

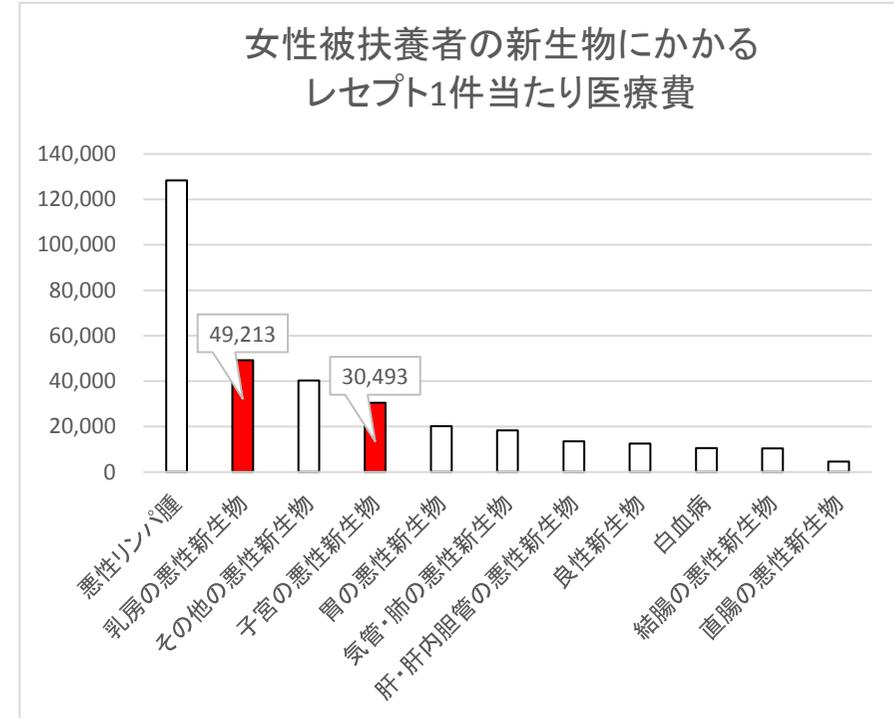
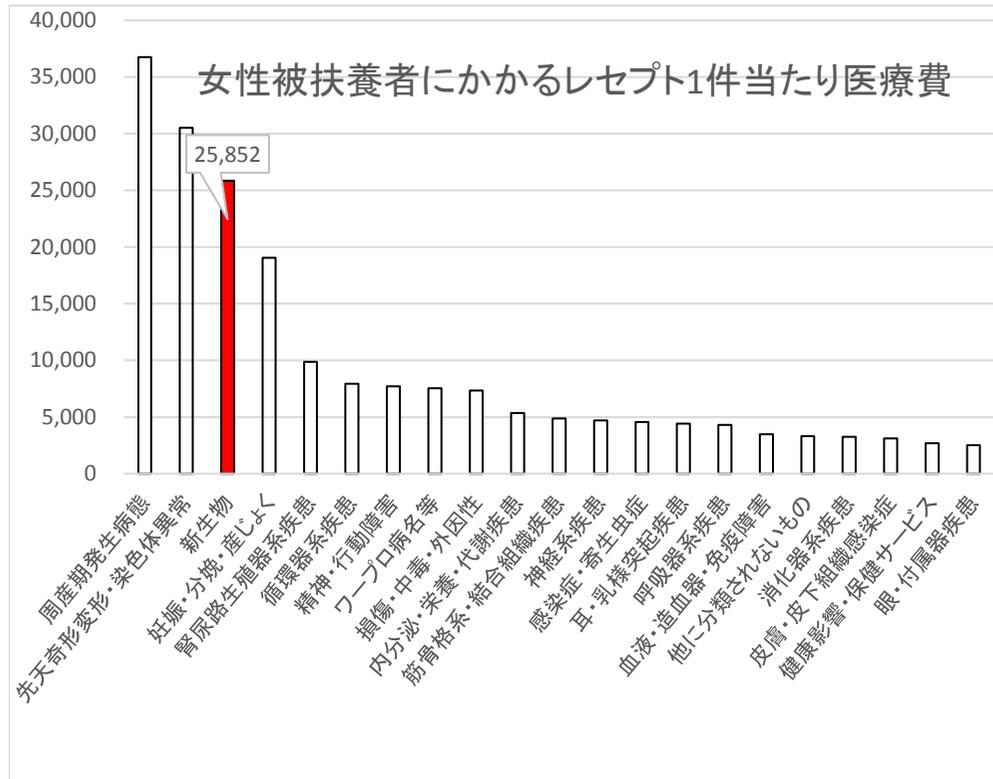
キ 	平成28年度 疾病19分類別 年齢階層別傷病分配医療費	医療費・患者数分析	-
ク 	平成28年度 生活習慣病 年齢階層別医療費	医療費・患者数分析	-
ケ 	平成28年度 循環器系疾患 年齢階層別医療費	医療費・患者数分析	-

被扶養者の健診受診率と男女比①



健診受診率が被保険者（85%以上）に比べ、被扶養者がかなり低い割合（40%程度）となっている。
30歳以上（健診受診対象年齢）の被扶養者の男女の割合は95%以上が女性である。

女性被扶養者の医療費について①

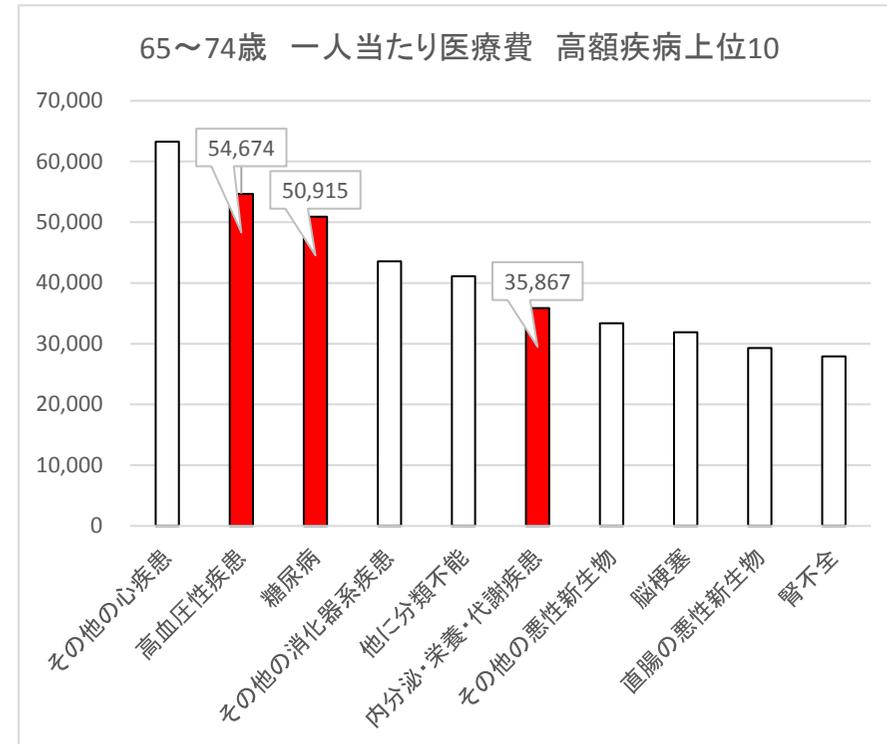
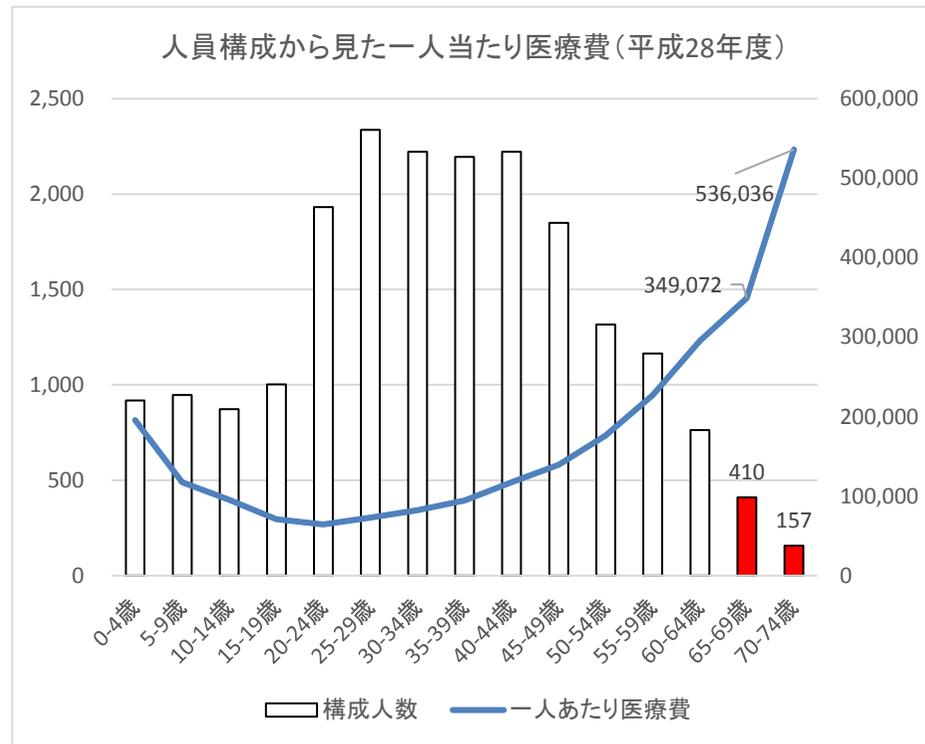


平成28年度の医療費実績より分析。

女性被扶養者にかかる医療費（疾病別内訳）からレセプト1件当たりの医療費が高額な「新生物」に着目。

女性被扶養者の「新生物」にかかる医療費の内訳から婦人科項目に該当する「乳房」および「子宮」の悪性新生物が上位であった。

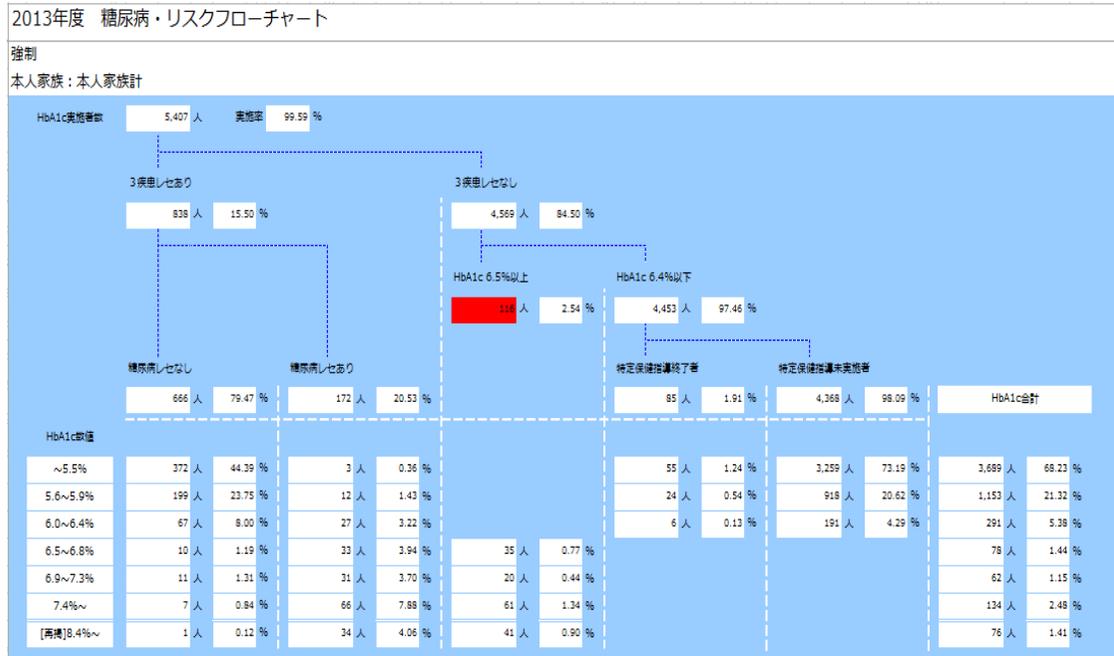
65～74歳の医療費について②



65～74歳の一人当たり医療費が高い。

65～74歳の一人当たり医療費の内訳を見たところ、3大生活習慣病である「高血圧」「糖尿病」「高脂血症」が上位にあった。

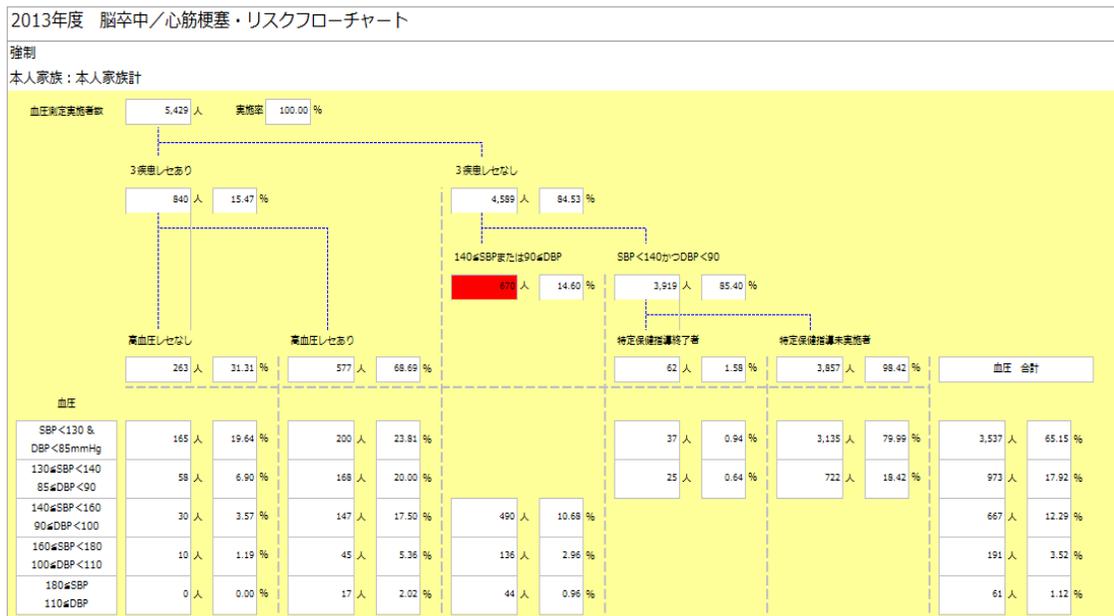
三大生活習慣病リスク保有者の抽出について③



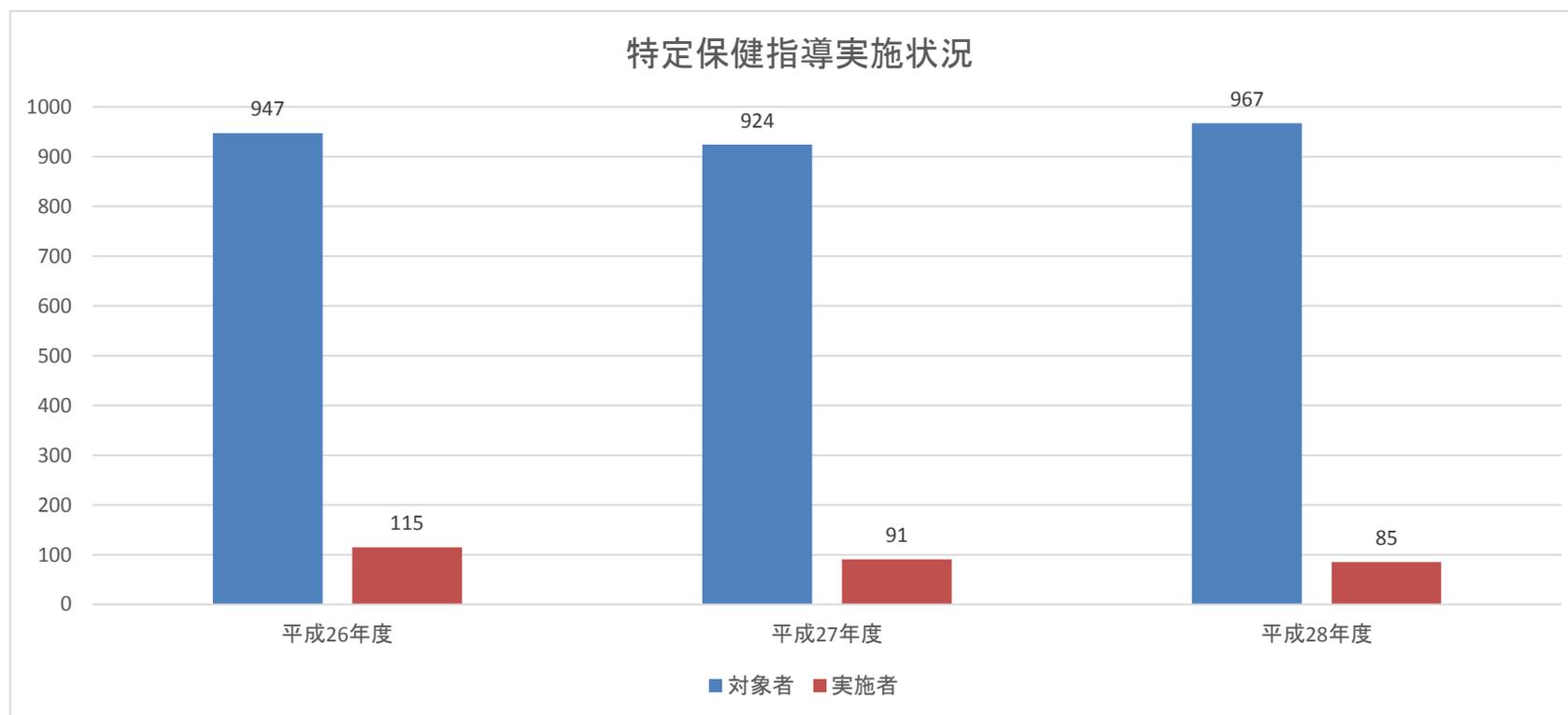
特定健診受診者の中から「HbA1cの数値が6.5以上の者」・「収縮期血圧140以上および拡張期血圧90以上の者」を三大生活習慣病リスク保有者として抽出する。

抽出したリスク保有者の中で医療機関の受診・未受診別にさらに抽出する。

※対象者は左記の 箇所の人数。



特定保健指導の実施について④

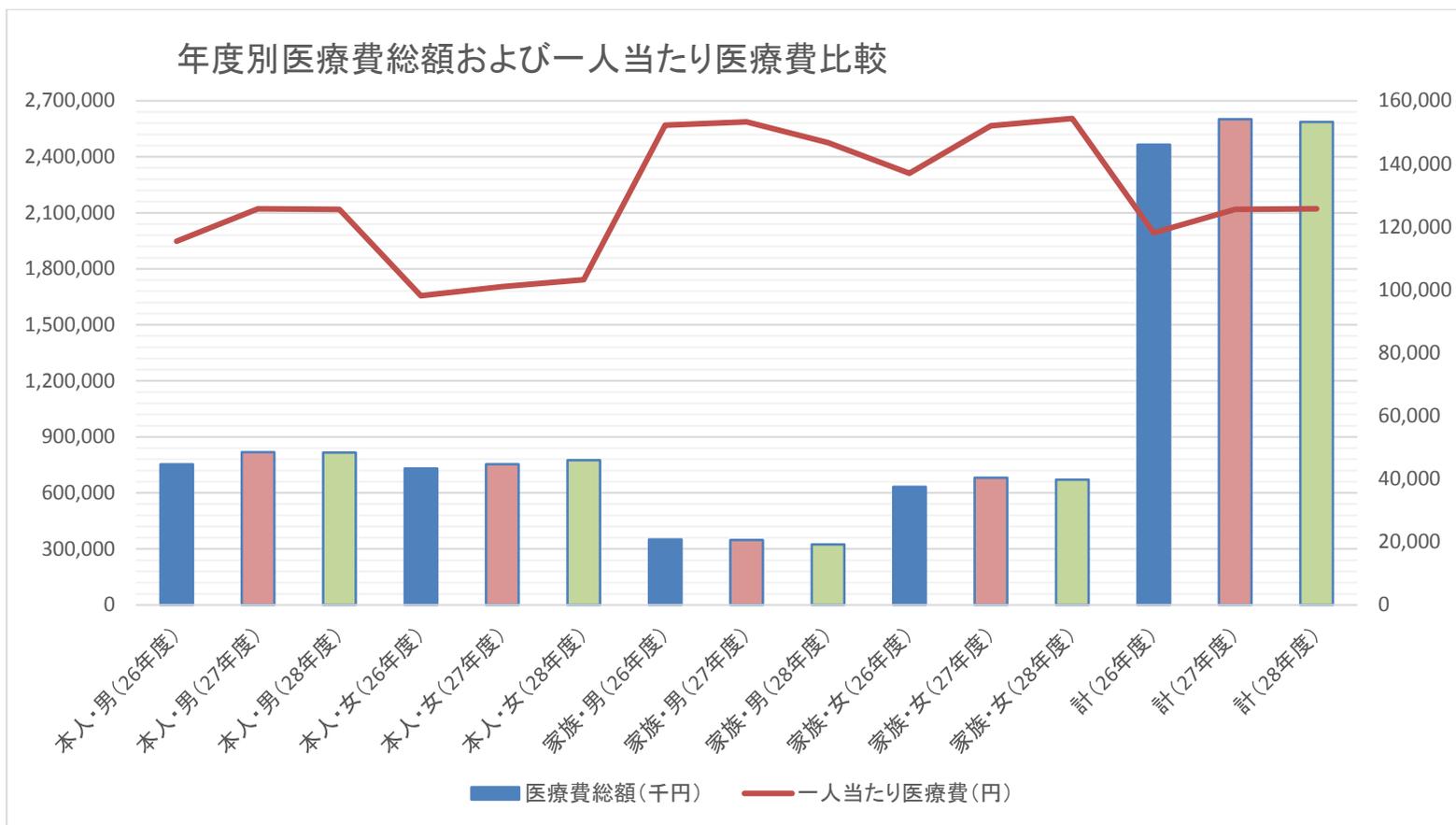


特定保健指導対象者に対し、実施者数が少ない。

実施率 平成26年度 12.1%

平成27年度 9.8%

平成28年度 8.8%



医療費総額は、対象人数が少ない家族・男を除き、本人・男女および家族・女は約7～8億円となっている。平成26年度から平成27年度の伸び率が5.5%と大きく増加している。

一人当たり医療費は、組合平均と比較すると、本人・男はほぼ等しく、本人・女は約25,000円少ない。また、家族・男女は20,000円～25,000円多い。家族・男の医療費総額は少ないものの、一人当たり医療費は多くなっている。家族・女の一人当たり医療費は、高い水準で増加傾向にある。

平成28年度 疾病19分類別 年齢階層別傷病分配医療費

診療区分：医科計 / 性別：男女計 / 本人家族：本人家族

疾病19分類	1人当たり医療費 (円)														
	0-4歳	5-9歳	10-14歳	15-19歳	20-24歳	25-29歳	30-34歳	35-39歳	40-44歳	45-49歳	50-54歳	55-59歳	60-64歳	65-69歳	70-74歳
01：感染症・寄生虫症	8,882	6,941	3,225	1,633	2,953	4,869	3,893	2,797	5,384	4,913	4,038	11,059	6,756	13,257	6,388
02：新生物	713	329	336	5,575	2,364	2,493	4,228	6,379	11,001	16,018	35,780	32,163	54,822	33,654	67,739
03：血液・造血器・免疫障害	833	114	261	682	311	532	598	736	1,068	792	1,845	2,197	1,121	15,797	3,268
04：内分泌・栄養・代謝疾患	3,259	4,532	13,296	5,238	2,101	2,649	3,629	5,676	6,300	9,858	16,696	25,103	26,882	33,735	54,124
05：精神・行動障害	1,455	3,115	2,525	2,687	4,164	6,126	3,745	4,074	4,187	7,993	4,654	2,031	4,480	2,486	29,370
06：神経系疾患	1,735	720	965	7,151	1,348	1,083	1,777	7,435	6,706	4,704	4,231	4,463	6,143	6,979	8,551
07：眼・付属器疾患	6,817	6,457	5,362	3,016	2,232	2,791	3,347	2,568	2,915	3,691	6,447	6,256	14,983	19,479	23,558
08：耳・乳様突起疾患	10,301	3,745	1,045	460	604	725	646	1,091	786	1,045	685	574	2,229	998	5,322
09：循環器系疾患	1,842	273	1,022	1,520	4,139	2,380	2,140	2,113	6,989	14,526	21,246	42,558	41,029	65,880	103,705
10：呼吸器系疾患	74,759	45,229	24,575	12,314	9,382	9,582	11,446	13,425	11,907	15,403	11,756	13,060	13,745	16,085	21,233
11：消化器系疾患	9,002	829	1,990	2,192	3,656	5,371	4,288	4,494	8,761	8,351	14,768	14,542	19,110	39,857	27,148
12：皮膚・皮下組織感染症	19,901	8,989	6,995	8,032	5,762	4,991	4,901	4,629	5,046	4,457	4,173	3,785	5,574	3,810	8,571
13：筋骨格系・結合組織疾患	2,990	2,763	2,694	1,758	1,801	2,084	4,617	6,393	8,250	8,877	12,268	14,663	23,070	23,748	61,909
14：腎尿路生殖器系疾患	2,031	760	6,418	827	2,180	3,864	3,644	4,036	5,360	9,187	4,890	19,468	19,628	29,636	25,788
15：妊娠・分娩・産じょく	3	2	0	9	332	5,151	7,649	3,016	1,165	43	3	0	0	0	0
16：周産期発生病態	14,903	0	0	0	48	69	155	191	2	0	0	0	0	0	0
17：先天奇形変形・染色体異常	13,838	1,424	97	82	2,764	93	130	66	28	32	21	69	38	13	21
18：他に分類されないもの	2,909	1,598	1,182	732	1,836	1,076	1,117	1,375	1,810	1,772	2,397	2,105	4,747	4,037	36,855
19：損傷・中毒・外因性	4,052	6,119	7,860	5,667	2,628	1,944	1,594	1,699	4,763	4,146	2,914	4,758	4,764	2,897	3,616
21：健康影響・保健サービス	497	0	0	0	9	4	14	1,180	31	42	1,121	646	185	3,360	660
22：重症急性呼吸器症候群など	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
88：ワープ口病名等	7,120	733	517	561	514	480	784	1,160	529	986	904	1,572	794	1,678	2,227

年齢階層別に見た一人当たり医療費において、20,000円を超える疾病分類を抽出した。

小児の呼吸器系疾患を除き、50歳以降における「新生物」「内分泌・栄養・代謝疾患」「循環器系疾患」「筋骨格・結合組織疾患」で高い医療費の傾向である。

高い医療費の傾向である各疾病分類は、生活習慣に高い関連性が伺えるものである。

他の疾病分類においても、65歳以上での一人当たり医療費が高いため、65歳到達以前における重症化予防の必要性がある。

「筋骨格系・結合組織疾患」においては、ロコモティブシンドロームやサルコペニアといった運動器に関連した生活習慣病対策が必要と思われる。

平成28年度 生活習慣病 年齢階層別医療費

診療区分：医科計 / 性別：男女計 / 本人家族：本人家族計

	1人当たり医療費（円）							
	合計	40～44歳	45～49歳	50～54歳	55～59歳	60～64歳	65～69歳	70～74歳
糖尿病	3,400	2,858	4,640	8,330	11,672	13,532	18,357	29,673
（再掲）いんじ治療	911	967	1,397	2,019	1,941	3,207	3,227	9,604
（再掲）腎障害	10	9	15	21	35	24	94	64
（再掲）網膜症	77	68	26	317	362	425	249	333
（再掲）神経障害	8	4	11	3	54	56	35	37
脳血管疾患	1,035	207	3,131	635	4,028	1,329	15,988	3,002
虚血性心疾患	593	210	267	2,793	3,936	1,166	1,967	3,734
動脈閉塞	0	0	0	0	0	3	0	0
高血圧症	3,474	1,923	4,503	9,674	13,987	18,572	21,800	31,618
高尿酸血症	217	198	303	430	847	1,102	1,044	1,025
高脂血症	1,855	1,235	2,510	4,691	6,772	9,027	10,959	16,733
肝機能障害	65	75	67	143	147	111	234	817
高血圧性腎臓障害	0	0	0	0	2	2	3	0
人工透析	1,956	455	3,311	972	19,929	5,827	12,595	0
（再掲）糖尿病	174	0	0	0	2,885	383	98	0
（再掲）高血圧症	122	25	140	149	1,416	327	408	0

糖尿病および高血圧症は、40歳から徐々に医療費が増加し、55歳からは一人当たり医療費が10,001円を超え、その後も年齢を増すごとに増え続け、65歳以上では20,000円に近い一人当たり医療費となるため、65歳以上の医療費が高くなる要因の一つと考えられる。

※40歳未満は1人当たり医療費が低いため、非表示。

平成28年度 循環器系疾患 年齢階層別医療費

診療区分：医科計 / 性別：男女計 / 本人家族：本人家族計

	1人当たり医療費（円）							
	合計	40～44歳	45～49歳	50～54歳	55～59歳	60～64歳	65～69歳	70～74歳
高血圧性疾患	3,605	1,955	4,651	9,824	15,479	18,907	22,241	31,903
虚血性心疾患	758	361	400	3,347	4,944	1,540	2,767	4,397
肺性心疾患・肺循環	239	464	0	920	67	552	0	75
その他の心疾患	2,658	1,046	4,052	3,891	8,133	8,169	10,834	52,001
脳血管疾患	2,127	2,263	3,967	2,232	9,972	3,126	25,773	9,850
動脈、細動脈、毛細血管	587	50	205	393	1,934	7,033	1,372	2,162
静脈、リンパ管、リンパ節	604	831	1,107	589	1,641	1,544	2,265	3,154
その他循環器系	49	0	121	40	333	1	0	163

高血圧性疾患は、50歳を超えると高い水準で増加していく。

それに伴い、心疾患および脳血管疾患についても一人当たり医療費が多くかかっている。

※40歳未満は1人当たり医療費が低いため、非表示。

STEP 2 健康課題の抽出

No.	STEP1 対応項目	基本分析による現状把握から見える主な健康課題		対策の方向性	優先すべき 課題
1	カ, キ, ク, ケ	年齢階層別一人当たり医療費を疾病19分類別で見ると「新生物」「内分泌・栄養・代謝疾患」「循環器系疾患」「筋骨格・結合組織疾患」で高い医療費の傾向で、生活習慣と関連性の高い疾病であった。	➔	「新生物」においては、「消化器」「乳房」が高い医療費の傾向であるため、健診における「上部消化管X線検査」「便潜血検査」「婦人科検査」の受診を勧奨することに努める。 「内分泌・栄養・代謝疾患」「循環器系疾患」においては、健診結果で高血圧・高血糖・高脂質となった受診者を対象に健康情報の提供を含む重症化予防に取り組む。	
2	ア, イ	被扶養者の健診受診率が低く、一人当たり医療費の上位に悪性新生物「乳房および子宮」がある。	➔	被扶養者あての健診通知にて、無料健診と婦人科検査の重要性の周知を行い、受診率の改善と医療費抑制に繋げる。	
3	ウ, キ, ク, ケ	65～74歳の一人当たり医療費が高い。 特に「高血圧症・糖尿病・脂質異常症」にかかわる一人当たり医療費が高い傾向にある。 長期に渡る投薬治療が必要な対象者が多数いると考えられる。	➔	65～74歳を対象とし、ジェネリック医薬品の使用促進を図ることにより医療費抑制効果を見込む。	
4	エ, キ, ケ	40歳以上の健診受診者のうち「高血圧症・糖尿病・脂質異常症」のリスク保有者で医療機関未受診者が多く見られる。	➔	医療機関未受診である、生活習慣病のリスク保有者（高血圧症・糖尿病）に対して、受診勧奨および健康相談室案内を行なう。	
5	オ	健康課題1.3.4の解消にも繋がる特定保健指導の実施率が低い	➔	事業所および特定保健指導対象者に対し、特定保健指導の効果や重要性・必要性を周知する。 対象者の多い事業所宛には、特定保健指導の申込状況を送り、受診勧奨の再依頼を行う。	

基本情報

No.	特徴	対策検討時に留意すべき点

保健事業の実施状況

No.	特徴	対策検討時に留意すべき点

STEP 3 保健事業の実施計画

事業全体の目的

加入者の健康保持・増進

事業全体の目標

加入者の健康状態の把握

事業の一覧

職場環境の整備

加入者への意識づけ

保健指導宣伝	機関誌（洋菓子KENPO）の発行
保健指導宣伝	情報誌（すこやかファミリー）の発行
保健指導宣伝	ホームページの運営
保健指導宣伝	MY HEALTH WEB運営（医療費通知）

個別の事業

特定健康診査事業	特定健診（被保険者）
特定健康診査事業	特定健診（被扶養者）
特定保健指導事業	特定保健指導
保健指導宣伝	ジェネリック医薬品使用促進
保健指導宣伝	情報誌（月刊赤ちゃん!）の配付
保健指導宣伝	健診結果（事業所控）等の送付
疾病予防	一般健診（被保険者）
疾病予防	生活習慣病予防健診（被保険者）
疾病予防	生活習慣病予防健診（被扶養者）
疾病予防	婦人生活習慣病予防健診（被保険者）
疾病予防	婦人生活習慣病予防健診（被扶養者）
疾病予防	人間ドック（被保険者）
疾病予防	人間ドック（被扶養者）
疾病予防	脳検査（脳ドック）
疾病予防	インフルエンザ予防接種
疾病予防	重症化予防のための受診勧奨および健康相談室の開設
疾病予防	電話健康相談・メンタルヘルスカウンセリング
疾病予防	健康企業宣言（コラボヘルス）
疾病予防	未受診者受診勧奨
疾病予防	その他の利用補助（感染症対策等の購入や予防接種に対する補助）
体育奨励	潮干狩り大会
体育奨励	味覚狩り（梨狩り）大会
体育奨励	味覚狩り（芋掘り）大会
体育奨励	ウォーキング大会
体育奨励	ミニマラソン大会
体育奨励	プール利用補助
体育奨励	東京ディズニーリゾート利用補助
その他	短期契約（夏季限定）保養所
その他	契約保養所
予算措置なし	スポーツクラブ法人契約
予算措置なし	家庭用常備薬の斡旋

※事業は予算科目順に並び替えて表示されています。

予算科目	注1)事業分類	新規既存	事業名	対象者				注2)実施主体	注3)プロセス分類	実施方法	注4)ストラクチャー分類	実施体制	予算額(千円)						事業目標	健康課題との関連
				対象事業所	性別	年齢	対象者						実施計画							
													令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度		
アウトプット指標												アウトカム指標								
職場環境の整備																				
加入者への意識づけ																				
保健指導宣伝	2,5	既存	機関誌(洋菓子KENPO)の発行	全て	男女	0~74	加入者全員	1	エ	年4回、機関誌「洋菓子KENPO」を発行し、各事業所を通して被保険者に配付する。	シ	-	-	-	-	5,660	5,660	加入者に対し、医療保険制度および保健事業の案内をし、健康意識の向上を図る。ペーパーレス化により機関誌の受け取りを中止した事業所には、ホームページの機関誌バックナンバーの周知依頼が必要となる。	該当なし(これまでの経緯等で実施する事業)	
	機関誌配付率【実績値】50% 【目標値】令和6年度:50% 令和7年度:50% 令和8年度:50% 令和9年度:50% 令和10年度:50% 令和11年度:50%)紙媒体の送付事業所は減少傾向である。												情報提供事業であるためアウトプット指標の設定が困難であるため。(アウトカムは設定されていません)							
	2	既存	情報誌(すこやかファミリー)の発行	全て	男女	17~74	基準該当者	1	ス	年4回、情報誌「すこやかファミリー」を発行し、被扶養者を有する被保険者宅に配付	シ	-	-	-	-	6,324	6,324	被扶養者を有する被保険者に対し、医療保険制度および保健衛生の認識を啓発する。30歳以上の女性被扶養者向けに婦人健診の案内を同封し、健診の受診率向上を目指す。	被扶養者の健診受診率が低く、一人当たり医療費の上位に悪性新生物「乳房および子宮」がある。	
	情報誌配付率【実績値】99% 【目標値】令和6年度:90% 令和7年度:0% 令和8年度:0% 令和9年度:0% 令和10年度:0% 令和11年度:0%)送付拒否により、全対象者に配布ができないため												情報提供事業であるためアウトプット指標の設定が困難であるため。(アウトカムは設定されていません)							
	2	既存	ホームページの運営	全て	男女	0~74	加入者全員,その他	1	エ,ス	株式会社法研への委託により開設ニュース・トピックスなどは組合にて管理	シ	-	-	-	-	900	900	健保組合の情報および医療保険制度情報の発信により、加入者の健康意識の向上を図る。ホームページの認知度向上のため、各事業所に周知への協力を依頼する。	該当なし(これまでの経緯等で実施する事業)	
アクセス数【実績値】- 【目標値】令和6年度:0件 令和7年度:0件 令和8年度:0件 令和9年度:0件 令和10年度:0件 令和11年度:0件)目標アクセス数年間 50000件 月平均4000件												情報提供事業であるためアウトプット指標の設定が困難であるため。(アウトカムは設定されていません)								
2	既存	MY HEALTH WEB運営(医療費通知)	全て	男女	0~74	被保険者	1	エ,ス	ICTツール(MY HEALTH WEB)と基幹システムの連携による医療費情報の配信 依頼者に対する紙媒体の医療費通知の送付	シ	-	-	-	-	800	800	医療費への関心を促し、医療費の削減や不正請求の防止効果を見込む。DV家庭などの閲覧制限の徹底が必要である。機関誌などでMY HEALTH WEB(アプリ)の周知と登録勧奨を行う。	該当なし(これまでの経緯等で実施する事業)		
MY HEALTH WEB(アプリ)登録者数【実績値】0件 【目標値】令和6年度:0件 令和7年度:0件 令和8年度:0件 令和9年度:0件 令和10年度:0件 令和11年度:0件)アプリ登録者 被保険者単位												情報提供事業であるためアウトプット指標の設定が困難であるため。(アウトカムは設定されていません)								
個別の事業																				
特定健康診査事業	3	既存(法定)	特定健診(被保険者)	全て	男女	40~74	被保険者	3	イ,ウ,オ,ク,サ	東振協契約や洋菓子契約医療機関での健診に対する費用補助または全額自己負担で受診した健診に対する補助金支給	ア,ウ	-	-	-	-	66,943	66,943	受診者の健康状態を把握し、疾病リスク保有者に対しては特定保健指導や健康相談室の案内・受診勧奨などにより健康状態の改善をはかる。(疾病リスク保有者への健康相談室案内や受診勧奨および情報提供体制の整備を行う。) 特定保健指導・健康相談室の未受診者に対する再通知などの体制を検討する。	年齢階層別一人当たり医療費を疾病19分類別で見ると「新生物」「内分泌・栄養・代謝疾患」「循環器系疾患」「筋骨格・結合組織疾患」で高い医療費の傾向で、生活習慣と関連性の高い疾病であった。 65~74歳の一人当たり医療費が高い。特に「高血圧症・糖尿病・脂質異常症」にかかわる一人当たり医療費が高い傾向にある。 長期に渡る投薬治療が必要な対象者が多数いると考えられる。	
	特定健診実施率【実績値】75% 【目標値】令和6年度:75% 令和7年度:0% 令和8年度:0% 令和9年度:0% 令和10年度:0% 令和11年度:0%)40~74歳の健診受診率(被保険者) 特定健診+婦人健診+人間ドックの合計件数より計算 ※目標値は「第三期特定健康診査等実施計画」より												特定保健指導該当者割合【実績値】- 【目標値】令和6年度:0% 令和7年度:0% 令和8年度:0% 令和9年度:0% 令和10年度:0% 令和11年度:0%)							
																	9,971	9,971		

予算科目	注1)事業分類	新規既存	事業名	対象者				注2)実施主体	注3)プロセス分類	実施方法	注4)ストラクチャー分類	実施体制	予算額(千円)						事業目標	健康課題との関連
				対象事業所	性別	年齢	対象者						実施計画							
													令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度		
アウトプット指標												アウトカム指標								
	3	既存(法定)	特定健診(被扶養者)	全て	男女	40~74	被扶養者	1	イ,ウ,オ,ケ	ウ	-							<p>年齢階層別一人当たり医療費を疾病19分類別で見ると「新生物」「内分泌・栄養・代謝疾患」「循環器系疾患」「筋骨格・結合組織疾患」で高い医療費の傾向で、生活習慣と関連性の高い疾病であった。</p> <p>特に女性被扶養者の婦人科系悪性新生物の早期発見・治療に繋げるため、婦人健診・特定健診・人間ドックと合わせて受診率の向上を目指す。</p> <p>受診者の健康状態を把握し、疾病リスク保有者に対しては特定保健指導や健康相談室の案内・受診勧奨などにより健康状態の改善をはかる。 (疾病リスク保有者への健康相談室案内や受診勧奨および情報提供体制の整備。)</p> <p>被扶養者の健診受診率が低く、一人当たり医療費の上位に悪性新生物「乳房および子宮」がある。</p> <p>65~74歳の一人当たり医療費が高い。 特に「高血圧症・糖尿病・脂質異常症」にかかわる一人当たり医療費が高い傾向にある。 長期に渡る投薬治療が必要な対象者が多数いると考えられる。</p> <p>40歳以上の健診受診者のうち「高血圧症・糖尿病・脂質異常症」のリスク保有者で医療機関未受診者が多く見られる。</p>		
特定健診実施率(【実績値】44.5% 【目標値】令和6年度:45% 令和7年度:45% 令和8年度:45% 令和9年度:45% 令和10年度:45% 令和11年度:45%)40~74歳の健診受診率(被扶養者) 特定健診+婦人健診+人間ドックの合計件数より計算 ※目標値は「第三期特定健康診査等実施計画」より												特定保健指導該当者割合(【実績値】- 【目標値】令和6年度:0% 令和7年度:0% 令和8年度:0% 令和9年度:0% 令和10年度:0% 令和11年度:0%)-								
特定保健指導事業	2,4	既存(法定)	特定保健指導	全て	男女	40~74	基準該当者	1	エ,オ,ケ,サ	ア,ウ	-				3,662	3,662	<p>特定保健指導の受診率が国の基準に満たない場合、後期高齢者支援金が加算され保険料が増加するという仕組みの理解を深める広報をする。</p> <p>指導受診者が再度該当しないための予防策を検討し、指導の未受診者に対する再通知などの体制を整備する。</p> <p>健康課題1.3.4の解消にも繋がる 特定保健指導の実施率が低い</p>			
特定保健指導実施率(【実績値】8.2% 【目標値】令和6年度:8% 令和7年度:8% 令和8年度:8% 令和9年度:8% 令和10年度:8% 令和11年度:8%)※目標値は「第三期特定健康診査等実施計画」より												特定保健指導対象者減少率(【実績値】- 【目標値】令和6年度:0% 令和7年度:0% 令和8年度:0% 令和9年度:0% 令和10年度:0% 令和11年度:0%)実施率が向上することによる、特定保健指導対象者の減少を確認する。 減少率は、対前年度比								
												特定保健指導対象者割合(【実績値】- 【目標値】令和6年度:0% 令和7年度:0% 令和8年度:0% 令和9年度:0% 令和10年度:0% 令和11年度:0%)-								
												特定保健指導による特定保健指導対象者の減少率(【実績値】- 【目標値】令和6年度:0% 令和7年度:0% 令和8年度:0% 令和9年度:0% 令和10年度:0% 令和11年度:0%)-								
												腹囲2cm・体重2kg減を達成した者の割合(【実績値】- 【目標値】令和6年度:0% 令和7年度:0% 令和8年度:0% 令和9年度:0% 令和10年度:0% 令和11年度:0%)-								
保健指導宣伝	7	既存	ジェネリック医薬品使用促進	全て	男女	0~74	基準該当者	1	キ	シ	-				54	54	<p>医療費の節減による組合財政の健全化をはかる。</p> <p>65~74歳の一人当たり医療費が高い。 特に「高血圧症・糖尿病・脂質異常症」にかかわる一人当たり医療費が高い傾向にある。 長期に渡る投薬治療が必要な対象者が多数いると考えられる。</p>			
差額通知発送件数(【実績値】- 【目標値】令和6年度:0件 令和7年度:0件 令和8年度:0件 令和9年度:0件 令和10年度:0件 令和11年度:0件)-												ジェネリック医薬品使用率(【実績値】- 【目標値】令和6年度:0% 令和7年度:0% 令和8年度:0% 令和9年度:0% 令和10年度:0% 令和11年度:0%)国が提唱する目標値である80%を目指す。								
	5	既存	情報誌(月刊赤ちゃんと!)の配付	全て	男女	18~74	基準該当者	1	ス	シ	-				1,210	1,210	<p>育児支援の一助として配付する。</p> <p>該当なし(これまでの経緯等で実施する事業)</p>			
対象者情報の取得(【実績値】100% 【目標値】令和6年度:-% 令和7年度:-% 令和8年度:-% 令和9年度:-% 令和10年度:-% 令和11年度:-%)出産育児一時金(付加金)請求による対象者情報の取得												出産育児一時金(付加金)請求者を対象とし、100%実施しているため(アウトカムは設定されていません)								
	1	既存	健診結果(事業所控)等の送付	一部の事業所	男女	18~74	被保険者	1	イ	ア	-				720	720	<p>有所見者の医療機関への受診勧奨を事業主から行ってもらうための資料として活用し、重症化予防につなげる。</p> <p>また、産業医による健康管理や、労基署への報告に利用してもらう。</p> <p>ペーパーレス化により、CD(CSVデータ)での結果送付を行う場合もある。</p> <p>該当なし(これまでの経緯等で実施する事業)</p>			
健診結果提供率(【実績値】54% 【目標値】令和6年度:50% 令和7年度:50% 令和8年度:50% 令和9年度:50% 令和10年度:50% 令和11年度:50%)提供事業所/全事業所												アウトカム指標の設定が困難であるため。(アウトカムは設定されていません)								
												18,195						18,195		

予 算 科 目	注1) 事業 分類	新規 既存	事業名	対象者				注2) 実施 主体	注3) プロセス 分類	実施方法	注4) ストラク チャー 分類	実施体制	予算額(千円)					事業目標	健康課題との関連
				対象 事業所	性別	年齢	対象者						実施計画						
													令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度		
アウトプット指標												アウトカム指標							
疾 病 予 防	1,3	既存 (法定)	一般健診(被 保険者)	全て	男女	18 ～ 29	被保険 者	3	イ,ウ,オ,ケ ,サ	東振協契約や洋菓子契約 医療機関での健診に対す る費用補助 または 全額自己負担で受診した 健診に対する補助金支給	ア,ウ	-						受診者の健康状態を把握し、疾病リスク保 有者に対しては、健康相談室および受診勧 奨の案内により生活習慣の改善を目指す。 (健康相談室および受診勧奨対象者の管理 、通知方法などを整理する。) 若年層からの健康意識の向上をはかる。	年齢階層別一人当たり医療費を疾 病19分類別で見ると「新生物」「 内分泌・栄養・代謝疾患」「循環 器系疾患」「筋骨格・結合組織疾 患」で高い医療費の傾向で、生活 習慣と関連性の高い疾病であった 。
	健診受診率(【実績値】83% 【目標値】令和6年度：80% 令和7年度：80% 令和8年度：80% 令和9年度：80% 令和10年度：80% 令和11年度：80%)												(アウトカムは設定されていません)						
	2,3	既存 (法定)	生活習慣病予 防健診(被保 険者)	全て	男女	30 ～ 39	被保険 者	3	イ,ウ,オ,ケ ,サ	東振協契約や洋菓子契約 医療機関での健診に対す る費用補助 または 全額自己負担で受診した 健診に対する補助金支給	ア,ウ	-			15,725	15,725	受診者の健康状態を把握し、疾病リスク保 有者に対しては健康相談室の案内、受診勧 奨などにより健康状態の改善をはかる。 (疾病リスク保有者への健康相談室案内や 受診勧奨および情報提供体制の整備。) 特定健診対象年齢前の年齢層から健康意識 の向上をはかる。	年齢階層別一人当たり医療費を疾 病19分類別で見ると「新生物」「 内分泌・栄養・代謝疾患」「循環 器系疾患」「筋骨格・結合組織疾 患」で高い医療費の傾向で、生活 習慣と関連性の高い疾病であった 。	
	健診受診率(【実績値】 - 【目標値】令和6年度：0% 令和7年度：0% 令和8年度：0% 令和9年度：0% 令和10年度：0% 令和11年度：0%)30～39歳の健診 受診率(被保険者) 生活習慣病予防健診+婦人生活習慣病予防健診の合計件数 ※R3年度より目標値・実績値の出し方を変更												(アウトカムは設定されていません)						
2,3	既存	生活習慣病予 防健診(被扶 養者)	全て	男女	30 ～ 39	被扶養 者	1	イ,ウ,オ,ケ	東振協契約や洋菓子契約 医療機関での健診に対す る費用補助 または 全額自己負担で受診した 健診に対する補助金支給	ウ	-				382	382	被扶養者の健診受診者を増やすため、健康 診断の重要性への理解を深める広報を行う 。 特に女性被扶養者の婦人科系悪性新生物の 早期発見・治療に繋げるため、婦人健診・ 生活習慣病予防健診と合わせて受診率の向 上を目指す。 受診者の健康状態を把握し、疾病リスク保 有者に対しては健康相談室の案内・受診勧 奨などにより健康状態の改善をはかる。 (疾病リスク保有者への健康相談室案内や 受診勧奨および情報提供体制の整備。) 特定健診対象年齢前の年齢層から健康意識 の向上をはかる。	年齢階層別一人当たり医療費を疾 病19分類別で見ると「新生物」「 内分泌・栄養・代謝疾患」「循環 器系疾患」「筋骨格・結合組織疾 患」で高い医療費の傾向で、生活 習慣と関連性の高い疾病であった 。 被扶養者の健診受診率が低く、一 人当たり医療費の上位に悪性新生 物「乳房および子宮」がある。	
	健診受診率(【実績値】 - 【目標値】令和6年度：0% 令和7年度：0% 令和8年度：0% 令和9年度：0% 令和10年度：0% 令和11年度：0%)30～39歳の健診 受診率(被扶養者) 生活習慣病予防健診+婦人生活習慣病予防健診の合計件数 ※R3年度より目標値・実績値の出し方を変更												(アウトカムは設定されていません)						
	健診受診率(【実績値】22% 【目標値】令和6年度：0% 令和7年度：0% 令和8年度：0% 令和9年度：0% 令和10年度：0% 令和11年度：0%)婦人健診受診 者(30～39歳)+(40～74歳※) ※40～74歳は特定健診に件数が含まれるため再掲												(アウトカムは設定されていません)						
	3	既存 (法定)	婦人生活習慣 病予防健診(被 保険者)	全て	女性	30 ～ 39	被保険 者	3	イ,ウ,オ,ケ ,サ	東振協契約医療機関での 健診に対する費用補助	ア,ウ	-			11,880	11,880	女性被保険者の婦人科系悪性新生物の早期 発見・治療に繋げるため、婦人健診・生活 習慣病予防健診・特定健診と合わせて受診 率の向上を目指す。 受診者の健康状態を把握し、疾病リスク保 有者に対しては健康相談室の案内・受診勧 奨などにより健康状態の改善をはかる。 (疾病リスク保有者への健康相談室案内や 受診勧奨および情報提供体制の整備。) 特定健診対象年齢前の年齢層から健康意識 の向上をはかる。	年齢階層別一人当たり医療費を疾 病19分類別で見ると「新生物」「 内分泌・栄養・代謝疾患」「循環 器系疾患」「筋骨格・結合組織疾 患」で高い医療費の傾向で、生活 習慣と関連性の高い疾病であった 。 65～74歳の一人当たり医療費が高 い。 特に「高血圧症・糖尿病・脂質異 常症」にかかわる一人当たり医療 費が高い傾向にある。 長期に渡る投薬治療が必要な対象 者が多数いると考えられる。 40歳以上の健診受診者のうち「高 血圧症・糖尿病・脂質異常症」の リスク保有者で医療機関未受診者 が多く見られる。	
健診受診率(【実績値】22% 【目標値】令和6年度：0% 令和7年度：0% 令和8年度：0% 令和9年度：0% 令和10年度：0% 令和11年度：0%)婦人健診受診 者(30～39歳)+(40～74歳※) ※40～74歳は特定健診に件数が含まれるため再掲												(アウトカムは設定されていません)							
												2,262	2,262						

予算科目	注1)事業分類	新規既存	事業名	対象者				注2)実施主体	注3)プロセス分類	実施方法	注4)ストラクチャー分類	実施体制	予算額(千円)					事業目標	健康課題との関連	
				対象事業所	性別	年齢	対象者						実施計画							
													令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度			令和11年度
アウトプット指標												アウトカム指標								
3	既存		婦人生活習慣病予防健診(被扶養者)	全て	女性	30～39	被扶養者	1	イ,ウ,オ,ケ	東振協契約医療機関での健診に対する費用補助	ウ	-							被扶養者の健診受診者を増やすため、健康診断の重要性への理解を深める広報を行う。 被扶養者の健診受診率が低く、一人当たり医療費の上位に悪性新生物「乳房および子宮」がある。 65～74歳の一人当たり医療費が高い。 特に「高血圧症・糖尿病・脂質異常症」にかかわる一人当たり医療費が高い傾向にある。 長期に渡る投薬治療が必要な対象者が多数いると考えられる。 40歳以上の健診受診者のうち「高血圧症・糖尿病・脂質異常症」のリスク保有者で医療機関未受診者が多く見られる。	年齢階層別一人当たり医療費を疾病19分類別で見ると「新生物」「内分泌・栄養・代謝疾患」「循環器系疾患」「筋骨格・結合組織疾患」で高い医療費の傾向で、生活習慣と関連性の高い疾病であった。 被扶養者の健診受診率が低く、一人当たり医療費の上位に悪性新生物「乳房および子宮」がある。 65～74歳の一人当たり医療費が高い。 特に「高血圧症・糖尿病・脂質異常症」にかかわる一人当たり医療費が高い傾向にある。 長期に渡る投薬治療が必要な対象者が多数いると考えられる。 40歳以上の健診受診者のうち「高血圧症・糖尿病・脂質異常症」のリスク保有者で医療機関未受診者が多く見られる。
健診受診率(【実績値】39% 【目標値】令和6年度：40% 令和7年度：40% 令和8年度：40% 令和9年度：40% 令和10年度：40% 令和11年度：40%)婦人健診受診者(30～39歳) + (40～74歳)												-	(アウトカムは設定されていません)							
3	既存		人間ドック(被保険者)	全て	男女	40～74	被保険者	3	イ,ウ,オ,ケ,サ	東振協契約や洋菓子契約医療機関での健診に対する費用補助または全額自己負担で受診した健診に対する補助金支給	ア,ウ	-				23,240	23,240	受診者の健康状態を把握し、疾病リスク保有者に対しては保健指導や健康相談室の案内、受診勧奨などにより健康状態の改善をはかる。 (疾病リスク保有者への健康相談室案内や受診勧奨および情報提供体制の整備。)	年齢階層別一人当たり医療費を疾病19分類別で見ると「新生物」「内分泌・栄養・代謝疾患」「循環器系疾患」「筋骨格・結合組織疾患」で高い医療費の傾向で、生活習慣と関連性の高い疾病であった。 65～74歳の一人当たり医療費が高い。 特に「高血圧症・糖尿病・脂質異常症」にかかわる一人当たり医療費が高い傾向にある。 長期に渡る投薬治療が必要な対象者が多数いると考えられる。 40歳以上の健診受診者のうち「高血圧症・糖尿病・脂質異常症」のリスク保有者で医療機関未受診者が多く見られる。	
健診受診率(【実績値】14% 【目標値】令和6年度：0% 令和7年度：0% 令和8年度：0% 令和9年度：0% 令和10年度：0% 令和11年度：0%)人間ドックのみの受診率 ※特定健診、婦人健診、人間ドックで受診者数が割れる												-	(アウトカムは設定されていません)							
3	既存		人間ドック(被扶養者)	全て	男女	40～74	被扶養者	1	イ,ウ,オ,ケ	東振協契約や洋菓子契約医療機関での健診に対する費用補助または全額自己負担で受診した健診に対する補助金支給	ウ	-				860	860	被扶養者の健診受診者を増やすため、健康診断の重要性への理解を深める広報を行う。 特に女性被扶養者の婦人科系悪性新生物の早期発見・治療に繋げるため、婦人健診・特定健診・人間ドックと合わせて受診率の向上を目指す。 受診者の健康状態を把握し、疾病リスク保有者に対しては健康相談室の案内・受診勧奨などにより健康状態の改善をはかる。 (疾病リスク保有者への健康相談室案内や受診勧奨および情報提供体制の整備。)	年齢階層別一人当たり医療費を疾病19分類別で見ると「新生物」「内分泌・栄養・代謝疾患」「循環器系疾患」「筋骨格・結合組織疾患」で高い医療費の傾向で、生活習慣と関連性の高い疾病であった。 被扶養者の健診受診率が低く、一人当たり医療費の上位に悪性新生物「乳房および子宮」がある。 65～74歳の一人当たり医療費が高い。 特に「高血圧症・糖尿病・脂質異常症」にかかわる一人当たり医療費が高い傾向にある。 長期に渡る投薬治療が必要な対象者が多数いると考えられる。 40歳以上の健診受診者のうち「高血圧症・糖尿病・脂質異常症」のリスク保有者で医療機関未受診者が多く見られる。	
健診受診率(【実績値】3% 【目標値】令和6年度：3% 令和7年度：3% 令和8年度：3% 令和9年度：3% 令和10年度：3% 令和11年度：3%)機関誌1回による被保険者(被扶養者)への周知												-	(アウトカムは設定されていません)							
																4,260	4,260			

予算科目	注1)事業分類	新規既存	事業名	対象者				注2)実施主体	注3)プロセス分類	実施方法	注4)ストラクチャー分類	実施体制	予算額(千円)					事業目標	健康課題との関連
				対象事業所	性別	年齢	対象者						実施計画						
													令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度		
アウトプット指標												アウトカム指標							
3	既存	脳検査(脳ドック)	全て	男女	40～74	被保険者、被扶養者	1	サ	東振協契約医療機関での脳検査に対する費用補助または全額自己負担で受診した脳検査(脳ドック)に対する補助金支給	ア,ウ	-						受診者の健康状態を把握し、脳血管疾患リスク保有者に対しては早期発見による改善をはかる。 (脳血管疾患リスク保有者の検査後の受診確認体制の整備。)	該当なし(これまでの経緯等で実施する事業)	
健診受診率(【実績値】 - 【目標値】 令和6年度：0% 令和7年度：0% 令和8年度：0% 令和9年度：0% 令和10年度：0% 令和11年度：0%)対象者(被保険者)+被扶養者)												(アウトカムは設定されていません)							
8	既存	インフルエンザ予防接種	全て	男女	0～74	加入者全員	1	ス	東振協契約医療機関での予防接種に対する費用補助または全額自己負担の予防接種に対する補助金支給	シ	-				10,460	10,460	インフルエンザ予防接種に対する補助を行うことで感染予防効果・重症化予防効果を見込み、医療費の抑制につなげる。	該当なし(これまでの経緯等で実施する事業)	
予防接種受診率(【実績値】 25% 【目標値】 令和6年度：0% 令和7年度：0% 令和8年度：0% 令和9年度：0% 令和10年度：0% 令和11年度：0%)予防接種者(被保険者)+被扶養者/対象者(被保険者)+被扶養者)												(アウトカムは設定されていません)							
4,6	既存	重症化予防のための受診勧奨および健康相談室の開設	全て	男女	0～74	加入者全員	3	イ,オ	毎月、対象者宛に封書にて医療機関受診のお願いおよび健康相談室(第2・第4水曜日/月)の案内、重症化予防のリーフレットを送付	ア,ウ	-				1,680	1,680	組合員の健康相談、健診結果の見方、二次検査・医療機関受診についてのアドバイスにより、健康保持・増進につなげる。生活習慣病リスク保有者に対して医療機関受診を呼びかけることで、重症化を予防する。	年齢階層別一人当たり医療費を疾病19分類別で見ると「新生物」「内分泌・栄養・代謝疾患」「循環器系疾患」「筋骨格・結合組織疾患」で高い医療費の傾向で、生活習慣と関連性の高い疾病であった。 被扶養者の健診受診率が低く、一人当たり医療費の上位に悪性新生物「乳房および子宮」がある。 65～74歳の一人当たり医療費が高い。特に「高血圧症・糖尿病・脂質異常症」にかかわる一人当たり医療費が高い傾向にある。長期に渡る投薬治療が必要な対象者が多数いると考えられる。 40歳以上の健診受診者のうち「高血圧症・糖尿病・脂質異常症」のリスク保有者で医療機関未受診者が多く見られる。	
医療機関受診・健康相談室利用率(【実績値】 - 【目標値】 令和6年度：0% 令和7年度：0% 令和8年度：0% 令和9年度：0% 令和10年度：0% 令和11年度：0%)対象者/案内結果(通知相談者+任意相談者+医療機関受診者)												アウトカム指標の設定が困難であるため。(アウトカムは設定されていません)							
5,6	既存	電話健康相談・メンタルヘルスカウンセリング	全て	男女	0～74	加入者全員	1	イ,エ	㈱法研による委託事業電話による健康相談、メールによるWEB健康相談電話または対面によるメンタルヘルスカウンセリング	ウ	-				1,664	1,664	電話による健康相談を24時間体制で行うことで、組合員の健康をサポートする。メンタルヘルスに対応した電話相談および面談で、組合員の精神面の健康をサポートする。	該当なし(これまでの経緯等で実施する事業)	
電話健康相談・メンタルヘルスカウンセリングの周知(【実績値】 - 【目標値】 令和6年度：0% 令和7年度：0% 令和8年度：0% 令和9年度：0% 令和10年度：0% 令和11年度：0%)対象者/(電話相談利用者+メンタルヘルスカウンセリング利用者)												アウトカム指標の設定が困難であるため。(アウトカムは設定されていません)							
1	既存	健康企業宣言(コラボヘルス)	全て	男女	18～74	被保険者	2	イ	健康企業宣言参加事業所の受付および届出と、実施結果レポートの評価確認。資料・情報提供	ア,ク	-				500	500	健康企業宣言に参加してもらうことにより、健診受診者および特定保健指導受診者の受診率向上、加入者の健康維持・増進の促進に繋がる。	該当なし(これまでの経緯等で実施する事業)	
事業所の参加率(【実績値】 3% 【目標値】 令和6年度：0% 令和7年度：0% 令和8年度：0% 令和9年度：0% 令和10年度：0% 令和11年度：0%)参加事業所/全事業所												銀の証取得率(【実績値】 - 【目標値】 令和6年度：0% 令和7年度：0% 令和8年度：0% 令和9年度：0% 令和10年度：0% 令和11年度：0%)取得事業所/参加事業所							
											-				0	0			

予算科目	注1)事業分類	新規既存	事業名	対象者				注2)実施主体	注3)プロセス分類	実施方法	注4)ストラクチャー分類	実施体制	予算額(千円)					事業目標	健康課題との関連
				対象事業所	性別	年齢	対象者						実施計画						
													令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度		
アウトプット指標												アウトカム指標							
	3	既存	未受診者受診勧奨	全て	男女	40～74	被扶養者	1	ウ	前年度の健診未受診者に対して、健診の意義・申込方法等の案内を送付	シ	-						未受診者本人宛での「健診の種類・方法・無料で受診可能であること」の案内を行い、受診率の向上を目指す。	年齢階層別一人当たり医療費を疾病19分類別で見ると「新生物」「内分泌・栄養・代謝疾患」「循環器系疾患」「筋骨格・結合組織疾患」で高い医療費の傾向で、生活習慣と関連性の高い疾病であった。 被扶養者の健診受診率が低く、一人当たり医療費の上位に悪性新生物「乳房および子宮」がある。 65～74歳の一人当たり医療費が高い。 特に「高血圧症・糖尿病・脂質異常症」にかかわる一人当たり医療費が高い傾向にある。 長期に渡る投薬治療が必要な対象者が多数いると考えられる。 40歳以上の健診受診者のうち「高血圧症・糖尿病・脂質異常症」のリスク保有者で医療機関未受診者が多く見られる。
対象者数(【実績値】 - 【目標値】 令和6年度：0人 令和7年度：0人 令和8年度：0人 令和9年度：0人 令和10年度：0人 令和11年度：0人)前年度未受診者(40歳以上の被扶養者)												健診受診率(【実績値】 - 【目標値】 令和6年度：0人 令和7年度：0人 令和8年度：0人 令和9年度：0人 令和10年度：0人 令和11年度：0人)受診者／対象者							
	8	既存	その他の利用補助(感染症対策等の購入や予防接種に対する補助)	全て	男女	0～74	加入者全員	1	ス	新型コロナウイルス感染症の予防接種に対する費用補助	ア	-				7,000	7,000	新型コロナウイルス感染症の予防接種に対する補助を行うことで感染予防効果・重症化予防効果を見込み、医療費の抑制につなげる。	該当なし
予防接種受診率(【実績値】 - 【目標値】 令和6年度：0% 令和7年度：0% 令和8年度：0% 令和9年度：0% 令和10年度：0% 令和11年度：0%)予防接種者(被保険者)+(被扶養者)／対象者(被保険者)+(被扶養者)												(アウトカムは設定されていません)							
体育奨励	5	既存	潮干狩り大会	全て	男女	0～74	加入者全員	1	ス	参加申込者に対して「入場引換券」を送付当日「入場引換券」持参者分の入場費用を補助	シ	-				925	925	家族や職場の仲間との交流の場を設け、心身のリフレッシュの機会を提供する。	該当なし(これまでの経緯等で実施する事業)
	申込人数(【実績値】 - 【目標値】 令和6年度：0人 令和7年度：0人 令和8年度：0人 令和9年度：0人 令和10年度：0人 令和11年度：0人)広報誌・情報誌・ホームページ、事業所への通知等による被保険者・被扶養者への周知募集人数：500人												参加人数(【実績値】 - 【目標値】 令和6年度：0人 令和7年度：0人 令和8年度：0人 令和9年度：0人 令和10年度：0人 令和11年度：0人)当日参加者：申込者の8割見込み						
	5	既存	味覚狩り(梨狩り)大会	全て	男女	0～74	加入者全員	1	ス	参加申込者に対して「入園券・補助券」を抽選および送付当日「入園券・補助券」持参者分の入場費用を補助	シ	-				524	524	身近な自然に触れ合うことでの心身のリフレッシュにより、活力を養う機会を提供する。	該当なし(これまでの経緯等で実施する事業)
	申込人数(【実績値】 - 【目標値】 令和6年度：0人 令和7年度：0人 令和8年度：0人 令和9年度：0人 令和10年度：0人 令和11年度：0人)広報誌・情報誌・ホームページ、事業所への通知等による被保険者・被扶養者への周知募集人数：300人												参加人数(【実績値】 - 【目標値】 令和6年度：0人 令和7年度：0人 令和8年度：0人 令和9年度：0人 令和10年度：0人 令和11年度：0人)当日参加者：申込者の8割見込み						
	5	既存	味覚狩り(芋掘り)大会	全て	男女	0(上限なし)	加入者全員,その他	1	ス	参加申込者に対して「参加券」を送付当日「参加券」持参者分の入場費用を補助	シ	-				442	442	身近な自然に触れ合うことでの心身のリフレッシュにより、活力を養う機会を提供する。	該当なし(これまでの経緯等で実施する事業)
申込人数(【実績値】 - 【目標値】 令和6年度：0人 令和7年度：0人 令和8年度：0人 令和9年度：0人 令和10年度：0人 令和11年度：0人)広報誌・情報誌・ホームページ、事業所への通知等による被保険者・被扶養者への周知募集人数：400人												参加人数(【実績値】 - 【目標値】 令和6年度：0人 令和7年度：0人 令和8年度：0人 令和9年度：0人 令和10年度：0人 令和11年度：0人)当日参加者：申込者の8割見込み							
5	既存	ウォーキング大会	全て	男女	0(上限なし)	加入者全員,その他	1	ケ,ス	参加申込者に対して「参加券」を送付当日「参加券」持参者分の入場費用を補助	シ	-				671	671	メタボリックシンドロームの要因となる運動不足の改善のきっかけ、健康維持・体力増進の機会を提供する。	該当なし(これまでの経緯等で実施する事業)	

予算科目	注1)事業分類	新規既存	事業名	対象者				注2)実施主体	注3)プロセス分類	実施方法	注4)ストラクチャー分類	実施体制	予算額(千円)					事業目標	健康課題との関連
				対象事業所	性別	年齢	対象者						実施計画						
													令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度		
アウトプット指標												アウトカム指標							
申込人数【実績値】 - 【目標値】 令和6年度：0人 令和7年度：0人 令和8年度：0人 令和9年度：0人 令和10年度：0人 令和11年度：0人)広報誌・情報誌・ホームページ、事業所への通知等による被保険者・被扶養者への周知募集人数：300人												参加人数【実績値】 168人 【目標値】 令和6年度：0人 令和7年度：0人 令和8年度：0人 令和9年度：0人 令和10年度：0人 令和11年度：0人)当日参加者：申込者の8割見込み							
5	既存	ミニマラソン大会	全て	男女	18～74	被保険者、基準該当者	1	ケ、ス	東振協主催のミニマラソン大会の参加費を補助。	シ	-	-	-	-	45	45	組合員の身体活動や運動についての意識や態度を向上させ、身体活動量を増加させるきっかけとなる機会を提供する。	該当なし（これまでの経緯等で実施する事業）	
ミニマラソン大会参加率【実績値】 - 【目標値】 令和6年度：0% 令和7年度：0% 令和8年度：0% 令和9年度：0% 令和10年度：0% 令和11年度：0%)対象者／参加者												アウトカム指標の設定が困難であるため。(アウトカムは設定されていません)							
5	既存	プール利用補助	全て	男女	0～74	加入者全員	1	ケ、ス	利用申込者に対して「プール利用補助券」を送付当日「プール利用補助券」持参者分の入場費用を補助	シ	-	-	-	300	300	組合員の心身のリフレッシュおよび家族や職場の仲間との交流の機会を提供する。	該当なし（これまでの経緯等で実施する事業）		
発行枚数【実績値】 - 【目標値】 令和6年度：0枚 令和7年度：0枚 令和8年度：0枚 令和9年度：0枚 令和10年度：0枚 令和11年度：0枚)広報誌・ホームページ、事業所への通知等による被保険者・被扶養者への周知プール利用補助券：1枚につき6人使用可能50部×6人=300人利用想定												利用補助券の利用率【実績値】 - 【目標値】 令和6年度：0% 令和7年度：0% 令和8年度：0% 令和9年度：0% 令和10年度：0% 令和11年度：0%)発行枚数／利用枚数							
5	既存	東京ディズニーリゾート利用補助	全て	男女	0～74	加入者全員	1	ケ、ス	利用申請者に対して利用券を発送チケット購入時に割引適用	シ	-	-	-	1,000	1,000	組合員の心身のリフレッシュおよびメタボリックシンドロームの要因となる運動不足の改善のきっかけ、健康維持・体力増進の機会を提供する。	該当なし（これまでの経緯等で実施する事業）		
発券枚数【実績値】 - 【目標値】 令和6年度：0枚 令和7年度：0枚 令和8年度：0枚 令和9年度：0枚 令和10年度：0枚 令和11年度：0枚)1000円割引×1000枚利用想定												利用率【実績値】 - 【目標値】 令和6年度：0% 令和7年度：0% 令和8年度：0% 令和9年度：0% 令和10年度：0% 令和11年度：0%)利用率：発券枚数の5割見込み							
その他	8	既存	短期契約(夏季限定)保養所	全て	男女	0(上限なし)	加入者全員,その他	1	ケ、ス	利用申込者に対して「利用券(利用通知書)」を抽選および送付当日「利用券(利用通知書)」分の宿泊費用を補助	シ	-	-	-	3,356	3,356	組合員の心身のリフレッシュおよび家族や職場の仲間との交流の機会を提供する。	該当なし（これまでの経緯等で実施する事業）	
夏季限定保養所の周知【実績値】 4回 【目標値】 令和6年度：-回 令和7年度：-回 令和8年度：-回 令和9年度：-回 令和10年度：-回 令和11年度：-回)広報誌・情報誌・ホームページ、事業所への通知等による被保険者・被扶養者への周知												アウトカム指標の設定が困難であるため。(アウトカムは設定されていません)							
8	既存	契約保養所	全て	男女	0～74	加入者全員	1	ス	契約施設の「補助金申請書(通知書)」相当の宿泊費用補助または全額自己負担した対象施設の宿泊に対する補助金支給	シ	-	-	-	10,330	10,330	組合員の心身のリフレッシュおよび家族や職場の仲間との交流の機会を提供する。	該当なし（これまでの経緯等で実施する事業）		
契約保養所の周知【実績値】 4回 【目標値】 令和6年度：-回 令和7年度：-回 令和8年度：-回 令和9年度：-回 令和10年度：-回 令和11年度：-回)機関誌1回、健康管理委員会1回による被保険者（被扶養者）への周知												アウトカム指標の設定が困難であるため。(アウトカムは設定されていません)							
予算措置なし	5	既存	スポーツクラブ法人契約	全て	男女	15～74	被保険者、被扶養者	1	ス	スポーツクラブにて法人会員料金にて利用が可能	シ	-	-	-	0	0	組合員の身体活動や運動についての意識や態度を向上させ、身体活動量を増加させるきっかけとなる機会を提供する。	該当なし（これまでの経緯等で実施する事業）	
ルネサンス利用者【実績値】 - 【目標値】 令和6年度：0人 令和7年度：0人 令和8年度：0人 令和9年度：0人 令和10年度：0人 令和11年度：0人)ルネサンス契約者数												(アウトカムは設定されていません)							
LAVA利用者【実績値】 - 【目標値】 令和6年度：0人 令和7年度：0人 令和8年度：0人 令和9年度：0人 令和10年度：0人 令和11年度：0人)LAVA契約者数																			
5	既存	家庭用常備薬の斡旋	全て	男女	0～74	加入者全員	1	ス	委託企業より、家庭用常備薬の案内を送付各事業所配布（被保険者あて）家庭向け情報誌（被扶養者あて）	シ	-	-	-	0	0	組合員の健康管理および疾病予防対策による医療の節減。	該当なし（これまでの経緯等で実施する事業）		
家庭用常備薬の斡旋の利用率【実績値】 - 【目標値】 令和6年度：0% 令和7年度：0% 令和8年度：0% 令和9年度：0% 令和10年度：0% 令和11年度：0%)利用者数／												予算措置がないため(アウトカムは設定されていません)							

予 算 科 目	注1) 事業 分類	新 規 既 存	事業名	対象者				注2) 実施 主体	注3) プロセス 分類	実施方法	注4) ストラク チャー 分類	実施体制	予算額(千円)					事業目標	健康課題との関連
				対象 事業所	性別	年 齢	対象者						実施計画						
													令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度		
アウトプット指標												アウトカム指標							

注1) 1. 職場環境の整備 2. 加入者への意識づけ 3. 健康診査 4. 保健指導・受診勧奨 5. 健康教育 6. 健康相談 7. 後発医薬品の使用促進 8. その他の事業

注2) 1. 健保組合 2. 事業主が主体で保健事業の一部としても活用 3. 健保組合と事業主との共同事業

注3) ア. 加入者等へのインセンティブを付与 イ. 受診状況の確認(要医療者・要精密検査者の医療機関受診状況) ウ. 受診状況の確認(がん検診・歯科健診の受診状況) エ. ICTの活用 オ. 専門職による健診結果の説明 カ. 他の保険者と共同で集計データを持ち寄って分析を実施 キ. 定量的な効果検証の実施
ク. 対象者の抽出(優先順位づけ、事業所の選定など) ケ. 参加の促進(選択制、事業主の協力、参加状況のモニタリング、環境整備) コ. 健診当日の面談実施・健診受診の動線活用 サ. 就業時間内も実施可(事業主と合意) シ. 保険者以外が実施したがん検診のデータを活用 ス. その他

注4) ア. 事業主との連携体制の構築 イ. 産業医または産業保健師との連携体制の構築 ウ. 外部委託先の専門職との連携体制の構築 エ. 他の保険者との健診データの連携体制の構築 オ. 自治体との連携体制の構築 カ. 医療機関・健診機関との連携体制の構築 キ. 保険者協議会との連携体制の構築 ク. その他の団体との連携体制の構築
ケ. 保険者内の専門職の活用(共同設置保健師等を含む) コ. 運営マニュアルの整備(業務フローの整理) サ. 人材確保・教育(ケースカンファレンス/ライブラリーの設置) シ. その他